

HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド

部品番号: 30-C8D7E7F6-002-ja-JP 発行: 2025年3月 版数: 2

HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象として います。Hewlett Packard Enterpriseコンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解している ことを前提としています。

部品番号: 30-C8D7E7F6-002-ja-JP 発行: 2025年3月 版数: 2

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証 については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するも のではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対 して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、 その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。 FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソ フトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ(Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使 用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。 Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel®、Itanium®、Optane™、Pentium®、Xeon®、Intel Inside®、およびIntel Insideロゴは、Intel Corporationまたはそ の子会社の商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

VMware ESXi™とVMware vSphere®は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。

Red Hat® Enterprise Linuxは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

microSD®はSD-3Dの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Kensington®はACCO Brandsの登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

- コンポーネントの識別
 - 。 フロントパネルのコンポーネント
 - 。フロントパネルのLEDとボタン
 - リアパネルのコンポーネント
 - 。 リアパネルのLED
 - 。 システムボードのコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMスロット位置
 - DIMMラベルの識別
 - 。 ドライブボックスと番号
 - 。 ファンベイ番号
 - 。コンポーネントのタッチポイント
 - 。 HPEのベーシックドライブのLEDの定義
 - 。 EDSFF SSDのLEDの定義
 - Systems Insight Display LED
 - 。HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント
 - 。HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義
 - 。 ライザーボードのコンポーネント
 - 。 リアスロットの番号
 - 。ヒートシンクおよびプロセッサーソケットのコンポーネント
 - 。 管理アームのコンポーネント
- セットアップ
 - 。 HPEインストレーションサービス
 - ・サーバーのセットアップ
 - 。 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - ファンとヒートシンクの要件
 - 。 ラックに関する警告と注意事項
 - 。 サーバーに関する警告と注意事項
 - 。 静電気対策
- 操作
 - 。 iLOサービスポート
 - ∘ Intel VR0Cのサポート
 - 。サーバーのUID LED
 - UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示
 - 。 ディスプレイ装置のセットアップ
 - 。 ファンモードの動作
 - 。 サポートされるPCIeフォームファクター
 - 。 Systems Insight Displayにアクセスする
 - Trusted Platform Module 2.0
 - 。 Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

- BitLockerリカバリキー/パスワードの保管のガイドライン
- システムバッテリの情報
- ハードウェアオプション
 - 。 Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン
 - 。 取り付け前の手順
 - サーバーデータバックアップ
 - サーバーの電源を切る
 - ケーブルマネジメントアームの開閉
 - ラックからサーバーを引き出す
 - ラックからサーバーを取り外す
 - ベゼルを取り外す
 - アクセスパネルを取り外す
 - ファンケージを取り外す
 - エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外す
 - ライザーケージを取り外す
 - 。 取り付け後の手順
 - アクセスパネルを取り付ける
 - ファンケージを取り付ける
 - エアバッフルを取り付ける
 - サーバーの電源を入れる
 - 。 冷却
 - 高性能ファンの取り付け
 - 。 ドライブ
 - ドライブのガイドライン
 - ホットプラグ対応LFF(3.5型)/SFF(2.5型)SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け
 - E3.Sドライブの取り付け
 - 。 ドライブおよび多目的ケージ
 - フロント多目的ケージの取り付け
 - フロント4 EDSFFドライブキットの取り付け
 - フロント8 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け
 - フロント2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケージの取り付け
 - スタックしたフロント2 SFF(2.5型) ドライブケージの取り付け
 - ミッドプレーンドライブケージの取り付け
 - スタックしたリア2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け
 - Energy Pack
 - 最小ファームウェアバージョン
 - HPE Smartストレージバッテリ
 - HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - Smartストレージバッテリ/キャパシターの取り付け
 - GPU
 - アクセラレータまたはGPUの取り付け
 - 。 管理
 - Systems Insight Displayの取り付け
 - リアシリアルポートインターフェイスの取り付け
 - メディアデバイス

■ SFF (2.5型) シャーシへのユニバーサルメディアベイの取り付け

- LFF (3.5型) シャーシへのユニバーサルメディアベイの取り付け
- SFF(2.5型)ユニバーサルメディアベイへのオプティカルディスクドライブの取り付け
- LFF (3.5型) ユニバーサルメディアベイへのオプティカルディスクドライブの取り付け

。 メモリ

- メモリ取り付け情報
- DIMMラベルの識別
- DIMMプロセッサーの互換性
- DIMMの取り付け
- 。 ネットワーク
 - フロントOCPネットワークイネーブルメントキットについて
 - OCPイネーブルメントキットの取り付け
 - リア0CPネットワークアダプターの取り付け
 - PCIeネットワークアダプターの取り付け
- ∘ OSブートデバイス
 - ブートデバイスドライブの取り付け
 - フロントHPE NS204iブートデバイスの取り付け
 - リアNS204i-uブートデバイスの取り付け
- 。 電源装置
 - 電源装置に関する警告と注意事項
 - ホットプラグ対応電源装置に関する計算
 - AC電源装置の取り付け
 - DC電源装置に関する警告と注意事項
 - DC電源ケーブルのDC電源への接続
 - DC電源装置のワイヤーの色
 - DC電源装置の取り付け
- プロセッサーとヒートシンク
 - プロセッサーに関する注意事項
 - プロセッサーまたはヒートシンクの取り付け
 - システムの日付と時刻の設定の再構成
 - 直接液冷キットの接続
- 。 ラックレールとCMA
 - ラックマウントインターフェイス
 - ラックレールのオプション
 - レール識別マーカー
 - ラックレールの取り付け
 - サーバーのラックへの取り付け
 - ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
 - ケーブルマネジメントアームの準備
 - ケーブルマネジメントアームの取り付け
- ライザーとライザーケージ
 - 拡張ボードの取り付け
 - セカンダリライザーケージの取り付け
 - ターシャリライザーケージの取り付け
 - リア2 SFF (2.5型) ライザーケージの取り付け
 - リア2 LFF (3.5型) ライザーケージの取り付け

- プライマリおよびセカンダリライザーの取り付け
- ターシャリライザーの取り付け
- 。 セキュリティ
 - ベゼルを取り付ける
 - シャーシ侵入検知スイッチの取り付け
- ストレージコントローラー
 - タイプpストレージコントローラーの取り付け
 - タイプoストレージコントローラーの取り付け
- ケーブル接続
 - 。 ケーブル接続のガイドライン
 - 。 ケーブル配線図
 - EDSFFのケーブル接続
 - 8 SFF (2.5型) ボックス1のケーブル接続
 - 8 SFF (2.5型) ボックス2のケーブル接続
 - 8 SFF (2.5型) ボックス3のケーブル接続
 - ボックス7のケーブル接続
 - フロント2 SFF (2.5型)のケーブル接続
 - リア2 SFF (2.5型)のケーブル接続
 - LFF (3.5型)のケーブル接続
 - ライザー有効化のケーブル接続
 - 電源ケーブルの接続
 - GPUのケーブル接続
 - NS204i-uブートデバイスのケーブル接続
 - 0CPの有効化
 - Systems Insight Displayのケーブル接続
 - 1/0のケーブル接続
 - フロント電源スイッチのケーブル接続
 - シリアルポートのケーブル接続
- 構成関連情報
 - 。ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - 。 サーバーの構成
 - 。 ストレージコントローラーの構成
 - 。 HPE NS204i-uブートデバイスの管理
 - 。 オペレーティングシステムの展開
 - 。 セキュリティの構成
 - 。 サーバー管理
 - 。Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理
- トラブルシューティング
 - ∘ NMI機能
 - 。フロントパネルのLED電源障害コード
 - トラブルシューティングの資料
- 安全、保証および規制に関する情報
 - 。 規定に関する情報
 - Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)
 - Turkey RoHS material content declaration
 - Ukraine RoHS material content declaration

- 。 保証情報
- 仕様
 - 。 環境仕様
 - 。 サーバーの仕様
 - 。電源装置の仕様
 - HPE 800W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1800-2200 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)
- サポートと他のリソース
 - Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス
 - 。 HPE製品登録
 - 。アップデートへのアクセス
 - カスタマーセルフリペア (CSR)
 - 。 リモートサポート
 - 。 ドキュメントに関するご意見、ご指摘

サブトピック

<u>フロントパネルのコンポーネント</u> フロントパネルのLEDとボタン <u>リアパネルのコンポーネント</u> <u>リアパネルのLED</u> システムボードのコンポーネント ドライブボックスと番号 <u>ファンベイ番号</u> <u>コンポーネントのタッチポイント</u> <u>HPEのベーシックドライブのLEDの定義</u> <u>EDSFF SSDのLEDの定義</u> Systems Insight Display LED HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義 <u>ライザーボードのコンポーネント</u> <u>リアスロットの番号</u> <u>ヒートシンクおよびプロセッサーソケットのコンポーネント</u> <u>管理アームのコンポーネント</u>

フロントパネルのコンポーネント

SFF (2.5型) フロントパネルのコンポーネント



Ξ·J	me.21
1	シリアル番号/iL0情報プルタブ
2	8 SFF(2.5型)ドライブまたはユニバーサルメ ディアベイ(オプション)
3	8 SFF (2.5型) ドライブまたは多目的ケージ (オ

- ______ 4 8 SFF (2.5型) ドライブ
- 5 iL0サービスポート

米巳 説明

6 USB 3.2 Gen 1ポート

SFF(2.5型)メディアベイのコンポーネント



番号 説明

- 1 USB 2.0ポート
- 2 DisplayPort 1.1a
- 3 オプティカルディスクドライブ(オプション)
- 4 USB 2.0ポート
- 5 スタックしたフロント2 SFF(2.5型)ドライブ (オプション)

多目的ケージのコンポーネント



以下のオプションのコンポーネントはボックス2でのみサポートされます。 **番号 説明**

1	EDSFF ドライブ (オプション)
2	フィラーベイ
3	NS204i-u (オプション)
4	フィラーベイ
5	0CPスロットボックス2、ベイ9(オプション)

6 0CPスロットボックス2、ベイ11(オプション)

12 LFF (3.5型) フロントパネルのコンポーネント

		1				23	
	1						
Ħ	٩						
	-1						

4

番号 説明

- 1 シリアル番号/iL0情報プルタブ
- 2 USB 3.2 Gen 1ポート
- 3 iL0サービスポート
- 4 LFF (3.5型) ドライブ

8 LFF (3.5型) フロントパネルのコンポーネント



番号 説明

- 1 2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブ (オプ ション)
- 2 LFF (3.5型) メディアベイ

LFF (3.5型) メディアベイのコンポーネント



フロントパネルのLEDとボタン

SFF (2.5型)



番号	説明	ステータス
1	電源ボタンおよびシステ ム電源LED ¹	 緑色で点灯 = システムに電源が入っています
		 緑色で点滅(毎秒1回) = 電源投入シーケンスを実行中です
		 オレンジ色で点灯 = システムはスタンバ イ状態です
		 消灯 = 電源が供給されていません²
2	$^$ νμαLED 1	 緑色で点灯 = 正常
		 緑色で点滅(毎秒1回) = iLOが再起動し ています
		 オレンジ色で点滅 = システムの性能が劣 化しています
		 赤色で点滅(毎秒1回) = システムに重大 な障害が発生しています³
3	NICのステータスLED 1	 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされ ています
		 緑色で点滅(毎秒1回) = ネットワークが 動作しています
		• 消灯 = ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED 1	 青色で点灯 = 動作しています
		 青色の点滅:
		 毎秒1回 = リモート管理またはファー ムウェアアップグレードを実行中です
		 毎秒4回 = iL0の手動再起動シーケン スが開始されました
		 毎秒8回 = iL0の手動再起動シーケン スが進行中です
		∘ 消灯 = 動作していません

- 1 このテーブルで説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。
- 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。
- ヘルスLEDが性能低下またはクリティカル状態を示している場合は、システムのIMLを確認するか、またはiLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

LFF (3.5型)



番号	説明	ステータス
1	電源ボタンおよびシステ ム電源LED ¹	 緑色で点灯 = システムに電源が入っています
		 緑色で点滅(毎秒1回) = 電源投入シーケンスを実行中です
		 オレンジ色で点灯 = システムはスタンバ イ状態です
		 消灯 = 電源が供給されていません²
2	\sim μ zLED 1	 緑色で点灯 = 正常
		 緑色で点滅(毎秒1回) = iLOが再起動し ています
		 オレンジ色で点滅 = システムの性能が劣 化しています
		 赤色で点滅(毎秒1回) = システムに重大 な障害が発生しています³
3	NICのステータスLED 1	 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされ ています
		 緑色で点滅(毎秒1回) = ネットワークが 動作しています
		 消灯 = ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED ¹	 青色で点灯 = 動作しています
		 青色の点滅:
		 毎秒1回 = リモート管理またはファー ムウェアアップグレードを実行中です
		 ・ 毎秒4回 = iL0の手動再起動シーケン スが開始されました
		 毎秒8回 = iL0の手動再起動シーケン スが進行中です
		。 消灯 = 動作していません

- 1 このテーブルで説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。
- ¹ 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。
- ³ ヘルスLEDが性能低下またはクリティカル状態を示している場合は、システムのIMLを確認するか、またはiLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

リアパネルのコンポーネント

1	2	3	٦
	8 7	6 5	4

番号	説明
1	プライマリライザースロット1~3(オプションの ドライブケージ)
2	セカンダリライザースロット4~6(オプションの ドライブケージ)
3	ターシャリライザースロット7~8(オプションの ドライブケージ)
4	電源装置1 (PS1)
5	電源装置2(PS2)
6	ビデオポート (VGA)
7	OCP B
8	シリアルポート (オプション)
9	iLOマネジメントポート
10	USB 3.2 Gen 1ポート

11 OCP A

リアパネルのLED



番号	説明	ステータス
1	UID LED	 消灯 = 動作していません 青色で点灯 = 動作しています 青色で点滅 = システムはリモートで管理されています
2	リンクLED	 消灯 = ネットワークにリンクされていません 緑色 = ネットワークにリンクされています。
3	ステータスLED	 消灯 = ネットワークが動作していません 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています 緑色で点滅=ネットワークが動作しています
4	電源装置LED	 消灯 = システムが停止中、または電源装置が故障している 緑色で点灯 = 正常

システムボードのコンポーネント



番号 説明

1	0CP Bポート1
2	0CP Bポート2
3	プライマリライザーコネクター
4	ディスプレイポートとUSB 2.0ポート
5	デュアルUSB 3.2 Gen1ポート
6	0SP Aポート1
7	システムバッテリ
8	MCI0ポート12
9	フロント1/0コネクター
10	ストレージのバックアップ電源コネクター1
11	NS204i-u信号コネクター
12	MCI0ポート1
13	MCI0ポート2
14	ボックス3バックプレーン電源コネクター
15	MCI0ポート3
16	MCI0ポート4
17	MCI0ポート5
18	MCI0ポート6
19	液冷コネクター
20	ボックス2バックプレーン電源コネクター
21	ボックス1バックプレーン電源コネクター
22	MCIOポート7
23	MCI0ポート8
24	MCI0ポート10
25	MCI0ポート9
26	バックプレーン電源コネクター
27	ボックス6バックプレーン電源コネクター
28	MCI0ポート11
29	シャーシ侵入検知スイッチコネクター
30	SmartNIC 4ピン電源コネクター
31	ストレージのバックアップ電源コネクター2
32	システムメンテナンススイッチ
33	セカンダリライザーコネクター
34	Energy Packコネクター
35	NS204i-u電源コネクター
36	ターシャリライザーサイドバンドコネクター
37	シリアルポートケーブルコネクター

サブトピック

<u>システムメンテナンススイッチの説明</u> <u>DIMMスロット位置</u> <u>DIMMラベルの識別</u>

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト	機能
S1 ¹	オフ	 オフ - iL0 7セキュリティは有効です。 オン - iL0 7セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 1	オフ	 オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 オン - 電源投入時パスワードは無効です。
20 -, -, -	A J	 オフ - 動作していません オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

1

冗長ROMにアクセスするには、S1、S5、およびS6をオンに設定します。 システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元 2 できるようになります。

システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元でき <u>3</u> ません。詳しくは、<u>サーバーの構成</u>を参照してください。

DIMMスロット位置

DIMMスロットは、各プロセッサーごとに順番に番号(1~16)が付けられています。



DIMMラベルの識別

ラベルには、DIMMに関する情報が記載されています。次のようなDIMMに関するその他の情報については、

- メモリ速度やサーバー固有のDIMM取り付けルール
- 製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性

次のWebサイトを参照してください。

https://www.hpe.com/docs/server-memory



番号	説明	例
1	容量1	16 GB
		32 GB
		64 GB
		96 GB
		128 GB
		256 GB
2	ランク	1R - シングルランク
		2R - デュアルランク
		4R - クアッドランク
		8R - オクタルランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット
		x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 – DDR5
5	メモリの最大速度 ¹	4800 MT/s
		5600 MT/s
		6400 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42
		B - 50-42-42(128 GBおよび256 GB容量の場 合)
7	DIMMタイプ	E - UDIMM(バッファーなし、ECC付き)
		R - RDIMM(レジスター付き)

メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサーモデルの総合的な組み合わせに 1 よって決まります。

ドライブボックスと番号

フロントSFF(2.5型) ドライブボックス

Box 1	Box 2	Box 3	
-------	-------	-------	--

フロントLFF (3.5型) ドライブボックス

14.1	Box 1	រុំ ត
1	Box 2	J
	Box 3	

リアドライブボックス

Box 4	Box 5	Box 6	() () () () () () () () () () () () () (
			XD.i

ミッドプレーンLFF (3.5型) ドライブボックス



フロントEDSFFケージ





多目的ケージを備えたフロントEDSFFドライブ



フロントSFF(2.5型)ドライブ







多目的ケージを備えたフロントSFF(2.5型)ドライブ



フロントLFF(3.5型)ドライブ

」 同		

		ůůů 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
٩		

リアSFF (2.5型) ドライブ



リアLFF (3.5型) ドライブ



ミッドプレーンLFF (3.5型) ドライブ



ファンベイ番号



コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPEホットプラグレッド



ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に 取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例:

- ホットプラグ対応ファン
- ホットプラグ対応ドライブ
- ホットプラグ対応ブートデバイス内のM.2 SSD

HPEタッチポイントブルー



タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムの シャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応 のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

コンポーネントの例:

• ストレージデバイス

- ファンケージ
- システムボード
- Energy Pack

HPEのベーシックドライブのLEDの定義

HPEのベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブの ステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

LFF (3.5型) ドライブキャリア

LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリアは、ホットプラグ対応SASまたはSATAをサポートします。



SFF (2.5型) ドライブキャリア

SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリアは、ホットプラグ対応SAS、SATA、またはU.3 NVMeをサポートします。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無 効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測ア ラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリ ケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅(毎秒 1回点滅)	このドライブの障害予測アラートが受信されました。でき るだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅(毎秒1回点 滅)	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。
			 RAIDの再構築または実行
			• ストリップサイズの移行の実行
			 容量拡張の実行
			• 論理ドライブの拡張の実行
			• 消去
			● スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅(毎秒4回点 滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがありま す。
		消灯	ドライブでは、RAIDコントローラーにより構成されていな

いか、スペアドライブです。

EDSFF SSDのLEDの定義

EDSFFドライブキャリアには、次の2つのLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブの ステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効 です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されています。
		オレンジ色/青色で点 滅(毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測ア ラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケー ションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅 (毎秒1回点滅)	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できる だけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションに よって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅(毎秒4回 点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがありま す。
		消灯	電源が供給されていません。

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display LEDは、システムボードのレイアウトを表しています。この表示によって、取り付けられたアク セスパネルの診断が可能になります。



説明	ステータス
プロセッサー	消灯 = 正常
LED	オレンジ色 = プロセッサーに障害が発生しています
DIMM LED	消灯 = 正常
	オレンジ色 = DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります
DIMMグループ	消灯 = 正常
LEV	オレンジ色 = DIMMグループに障害が発生しているか、または構成に問題があります
ファンLED	消灯 = 正常
	オレンジ色 = ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
NIC LED 1	消灯 = ネットワークにリンクされていません
	緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています
	緑色で点滅 = ネットワークにリンクされ動作しています
	電源が切れている場合は、フロントパネルのLEDが機能しません。ステータスについては、 <u>リアパネルの</u> L <u>ED</u> を参照してください。
電源装置のLED	消灯 = 正常
	オレンジ色で点灯 = 電源サブシステムが劣化しているか、電源装置に障害が発生しているか、または入 力電源が切断されています。
PCIライザー	消灯 = 正常
LED	オレンジ色 = PCIライザーケージが正しく取り付けられていません
温度超過LED	消灯 = 正常
	オレンジ色 = 高温を検出
消費電力上限	消灯 = システムはスタンバイの状態か、消費電力上限が設定されていません。
LEV	緑色で点灯 = 消費電力上限が適用されます
AMP ² ステータ	消灯 = AMPモードが無効
ZLED	緑色で点灯 = AMPモードが有効
	オレンジ色で点灯 = フェイルオーバー
	オレンジ色で点滅 = 無効な構成

- 1 内蔵NICポートはサーバーに装備されていません。Systems Insight DisplayのNIC LEDは、ネットワークアダプター ポートのアクティビティに応じて点滅します。デュアルポートアダプターの場合、それぞれのネットワークポートの 動作に対応して、NIC LED 1と2だけが点灯します。
- 2 アドバンストメモリプロテクションを構成するには、最新のUEFIシステムユーティリティユーザーガイドを参照して ください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらのLEDの組み合わせについては、<u>Systems Insight Display LED</u>を参照してください。

HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケージ
2	M.2スロット
3	ブートデバイスキャリ ア

HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義



⊘ 注記

ベイ番号はSSDキャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
А	障害または位置	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
	催認	青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色 で点滅(1秒に1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信 されました。
		オレンジ色で点滅(毎 秒1回点滅)	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くド ライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別さ れていません。
В	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅(毎秒1回点	ドライブは以下のいずれかを実行中です。
)政)	 RAIDの再構築または実行
			• 消去
		緑色で点滅(毎秒4回点 滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAIDコントローラーによる構成は行われていませ ん。

ライザーボードのコンポーネント

PCIe5 x16/x16/x16ライザーコンポーネント



番号 説明

- 1 8ピンGPU電源コネクター
- ストレージコントローラーのバックアップ電源コネク ター
- 3 x16ライザースロット



番号説明

1 LP SlimSASコネクター1

2 LP SlimSASコネクター2

PCIe5 x8/x16/x8ライザーコンポーネント



番号 説明

- 1 8ピンGPU電源コネクター
- 2 ストレージコントローラーのバックアップ電源コネク ター

3 スロット1はx8 スロット2はx16 スロット3はx8

PCIe5 x16/x16ターシャリライザーコンポーネント



番号説明

- 1 PCIe5 x16 (8、4、1) スロット
- 2 GPU電源コネクター
- 3 PCIe SlimSASポート2
- 4 PCIe SlimSASポート4
- 5 PCIe SlimSASポート3
- 6 PCIe SlimSASポート1

リアスロットの番号

すべてのライザースロットはPCIe5であり、最大消費電力はそれぞれ75 Wです。



スロット番号	位置	サポートされるフォームファクター
1	プライマリライザーケージ	フルハイト、フルレングス
2	-	フルハイト、ハーフレングス
3	-	フルハイト、ハーフレングス
4	セカンダリライザーケージ	フルハイト、フルレングス
5	-	フルハイト、ハーフレングス
6	-	フルハイト、ハーフレングス
7	ターシャリライザーケージ	フルハイト、フルレングス
8	-	フルハイト、ハーフレングス
基礎	OCPスロットA	標準OCPアダプター
В	OCPスロットB	標準0CPアダプター

ヒートシンクおよびプロセッサーソケットのコンポーネント

高性能ヒートシンクが示されています。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサーヒートシンクモジュー ル ¹
2	ヒートシンクナット
3	ヒートシンクラッチ
4	調整ネジ
5	ボルスタープレート

管理アームのコンポーネント



番号	説明
1	アウターレール
2	CMAアウターレールブラケッ ト
3	CMAインナーレールブラケッ ト
4	インナーレール
5	CMAエルボブラケット
6	ケーブルバスケット

セットアップ

サブトピック

 HPEインストレーションサービス

 サーバーのセットアップ

 動作要件

 ラックに関する警告と注意事項

 サーバーに関する警告と注意事項

 静電気対策
HPEインストレーションサービス

HPEインストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise製品、ソフトウェア製品、HPEまたはHPE製品販売店に よって販売される他のベンダーのHPEサポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレー ションサービスは、HPEおよびHPEサポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計されたHPEスペシャリストによ るHPE導入サービスです。

HPEインストレーションサービスには以下の利点があります。

- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。
- サービス実施のスケジュール調整。
- お客様は本来の業務に集中することが可能。
- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPEインストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記Webサイトを参照してください:

<u>https://www.hpe.com/jp/supportservices-tc</u>

サーバーのセットアップ

前提条件

- ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterpriseでは、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Managementは、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的なSoftware-as-a-Serviceプラットフォームです。HPE Compute Ops Managementの使用について詳しくは、<u>https://www.hpe.com/info/com-docs</u>を参照してください。
 - Intelligent Provisioningのファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioningは、HPE ProLiantサーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioningにアクセスするには、サーバーのブートプロセス中にF10キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioningのユーザーガイド(<u>https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks</u>)を参照 してください。
 - Service Pack for ProLiantをダウンロードします。SPPは、単一のISOイメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Managerを展開ツールとして使用します。
 - ・ 推奨されるSPPのダウンロード方法は、<u>https://www.hpe.com/servers/spp/custom</u>でSPPカスタムダウンロードを
 作成することです。
 - このオプションでは、不要なOSおよびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPPのサイズを縮小できます。
 - SPPは、<u>https://www.hpe.com/servers/spp/download</u>にあるSPPダウンロードページからもダウンロードすることができます。
- ご使用のOSまたは仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。 <u>https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices</u>
- このサーバーは、タイプoおよびタイプpストレージコントローラーオプションをサポートします。ストレージ構成に はIntel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)を使用してください。Intel VROCを使用する予定の場合は、サーバーを

<u>セットアップする前に、この重要な情報を確認してください</u>。

- サーバーの<u>動作要件</u>を確認します。
- 安全性とコンプライアンス情報を確認します。
 <u>https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts</u>

手順

- 1. サーバーの箱を開けて内容を確認してください。
 - サーバー
 - 電源コード
 - ラックマウント用ハードウェア部品(オプション)
 - ドキュメント

サーバーには、OSメディアは同梱されません。すべてのシステムソフトウェアとファームウェアは、あらかじめサー バーにプリロードされています。

- 2. (オプション)<u>ハードウェアオプションを取り付けます</u>。
- 3. <u>サーバーをラックに取り付けます。</u>
- 4. サーバーの管理方法を決定します。
 - ローカル管理の場合: KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
 - リモート管理の場合: iL0 Webインターフェイスに接続し、リモートコンソールを実行します。
 - a. 次のことを確認します。
 - iLOに、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。
 iLOのライセンスがない場合は、HPEのWebサイトを参照してください。

https://www.hpe.com/jp/servers/ilo

- 。 iL0管理ポートが、安全なネットワークに接続されている。
- b. ブラウザーを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

https://<iLOホスト名またはIPアドレス>

以下の点に注意してください。

- 。 DHCPサーバーがIPアドレスを割り当てる場合、IPアドレスはブート画面に表示されます。
- 。 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。
- c. iLOログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。
- d. ナビゲーションツリーで、リモートコンソール&メディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動 します。
- 5. 電源ボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

- 6. <u>サーバーの初期セットアップを構成します</u>。
- 7. <u>ストレージをセットアップします</u>。
- 8. <u>OSまたは仮想化ソフトウェアを展開します</u>。
- 9. OSのインストール後、<u>ドライバーをアップデートします</u>。
- 10. <u>サーバーを登録します</u>。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- <u>空間および通気要件</u>
- <u>温度要件</u>
- <u>電源要件</u>
- <u>アース要件</u>

環境要件については、<u>環境仕様</u>を参照してください。

サブトピック

<u>空間および通気要件</u> <u>温度要件</u> <u>電源要件</u> <u>アース要件</u>

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ラックの前面に63.50 cm (25.00インチ)
- ラックの背面に76.20 cm (30.00インチ)
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に121.90cm(48.00インチ)

次の注意事項に従ってください。

 サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、 周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃が すために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。

注意 不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてくださ 11

へ 注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場 合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動 することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けない棚 は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用す ると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。
 - 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm (830平方インチ)の通気孔(通気に必要な64パーセントの開口部と同等)を均等に確保し、十分な通気が行われる ようにします。
 - 。 側面 取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm (2.75インチ) 以上空けてくだ

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度(TMRA)は、35°C(95°F)です。ラックを設置する室内の温度は、35°C(95°F)を超えてはなりません。

🔨 注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が 許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けし なければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition(全国的な電気規約)およびNFPA-75, 1992(電気コンピュー ター/データ処理装置の保護に関する規約)の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電 源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。

警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。

注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS(無停電電源装置) を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハード ウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準 だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべ ての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電 気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置 はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterpriseでは、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用することをお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な 電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項

警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は25.32 kg (55.81ポンド) に なります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で29.99 kg (66.11ポンド) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認して ください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性がありま す。

警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意し てください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイ ドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は25.32 kg(55.81ポンド)を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、 コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出す と、ラックが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出した ときに作業台として使用したりしないでください。

警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該 当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、 またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック(脚)は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック(脚)にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。

警告

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してくださ い。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kgで、高さは2.1 mを超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支 えてください。

注意

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してくださ い。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。

注意

ラックにサーバーを取り付ける前に、ラックの制限事項の範囲を適切に定めてください。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、ラックの重量に対応できること を確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分 な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項

警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。

警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分 に冷めてから手を触れてください。

警告

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために:

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を空けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い 空気圧にさらさないでください。
- Energy Packを60°C以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリ電圧が1秒から160秒間は残る可能性があります。

注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してくださ い。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、 停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。

注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または 交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと<u>静電気放電</u>を引き起こす可能性が あります。

注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り 付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順 を実行する前に、<u>サーバーのすべてのデータをバックアップする</u>ことをお勧めします。

注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでくだ さい。この状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われず、冷却機構が正常に動作 しなくなるため、高温によって装置が損傷する可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人 間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。 その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い 部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、1 MΩ±10%です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足に アースバンドを付けます。
 - 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

サブトピック

<u>iLOサービスポート</u> <u>Intel VROCのサポート</u> <u>サーバーのUID LED</u> <u>ディスプレイ装置のセットアップ</u> <u>ファンモードの動作</u> <u>サポートされるPCIeフォームファクター</u> <u>Systems Insight Displayにアクセスする</u> <u>Trusted Platform Module 2.0</u> <u>Trusted Platform Module 2.0のガイドライン</u> <u>システムバッテリの情報</u>

iLOサービスポート

サービスポートは、サポートされているサーバーおよびコンピュートモジュールでiLOのラベルが付けられているUSBポート です。

お使いのサーバーまたはコンピュートモジュールがこの機能に対応しているか調べるには、次のWebサイト (<u>https://www.hpe.com/info/quickspecs</u>) にあるサーバーの仕様ドキュメントを参照してください。

サービスポートは、サーバーの前面にある、iLOのラベルが付けられているUSBポートです。

お使いのサーバーがこの機能に対応しているか調べるには、次のWebサイト(<u>https://www.hpe.com/info/quickspecs</u>)にあるサーバーの仕様ドキュメントを参照してください。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、サービスポートを使用して次のことができます。

• サポートされているUSBフラッシュドライブにActive Health Systemログをダウンロードします。

この機能を使用する場合、接続されているUSBフラッシュドライブにホストオペレーティングシステムはアクセスできません。

- サポートされるUSBイーサーネットアダプターにクライアント(ノートパソコンなど)を接続して以下にアクセスします。
 - 。 iLOのWebインターフェイス
 - 。 リモートコンソール
 - iLO RESTful API
 - CLI

iLOサービスポートを使用すると、次のようになります。

- 操作がiL0イベントログに記録されます。
- サービスポートのステータスを示すようにサーバーのUIDが点滅します。
 RESTクライアントとiLO RESTful APIを使用してサービスポートのステータスを取得することもできます。
- サービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- サービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

Intel VROCのサポート

Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)は、エンタープライズレベルのハイブリッドRAIDサポートを提供します。以下の 情報に注意してください。

- Intel VROCは、直接接続されたNVMe SSDにRAIDサポートを提供します。
- Intel VROCドライバーが必要です。OS固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<u>https://www.hpe.com/support/VROC-UG</u>

NVMeデバイスでIntel VROCを有効にする予定の場合は、Intel VROCハイブリッドRAIDライセンスを確保してください。
 Intel VROCライセンスについて詳しくは、サーバーのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/info/quickspecs

- Intel VROCではサーバー起動モードをUEFIモードに設定する必要があります。
- デフォルトでは、Intel VROC RAIDサポートは無効になっています。OS起動前環境では、UEFIシステムユーティリティを 使用してIntel VROCを有効にし、VROC RAIDボリュームを作成します。これらのタスクはIntelligent Provisioningでは サポートされていません。
- VROC RAIDボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- Intel VROCでは、次のツールを通じたRAID管理がサポートされています。
 - 。 任意のOS: UEFIシステムユーティリティ
 - 。 Windows : Intel VROC GUIおよびIntel VROC CLI
 - Linux : mdadm CLI

Intel VROCの機能と構成について詳しくは、ストレージコントローラーの構成を参照してください。

サーバーのUID LED

UID LEDを使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサ ポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちます。また、リモート管理、ファームウェアのアップグ レード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サブトピック

<u>UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示</u>

UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示

前提条件

- 外部モニターが接続されています。
- iLO Webインターフェイスのアクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

UIDボタンを使用すると、iL0のサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源 がオンまたはオフのときに使用できます。この機能は、サーバーが起動しない場合のトラブルシューティングに使用してく ださい。



UIDボタンを押して放します。5秒以上押し続けると、正常なiLOの再起動またはハードウェ アiLOの再起動を開始します。ハードウェアiLO再起動中にデータの損失やNVRAMの破損が発 生する可能性があります。

手順

1. UIDボタンを押して放します。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。詳しくは、iLOトラブルシューティングガイドを参照し てください。

https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks

2. 再度UIDボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

ディスプレイ装置のセットアップ

このサーバーでは、VGAポートとDisplayPort 1.1aの両方がサポートされています。ディスプレイデバイスを接続する前に、以下の点に注意してください。

- 表示出力モード:
 - VGAポートとDisplayPortの両方を使用して2台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方の デバイスにミラーリングされます。
 - iL0チップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
- DisplayPort用にHDMIまたはDVIアダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。 DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。

可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターにVGAポートしかない場合は、サー バーのVGAポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、またはドングルを使用すると、表示品質が低下した り、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

ファンモードの動作

🔨 注意

サーバーコンポーネントの損傷を防止するために、シングルプロセッサー構成では、必ず ファンベイ1と2にファンブランクを取り付けてください。

注意

装置の損傷を防止するために、 最適な数のファンが取り付けられていない場合は、 サー バーを長時間動作させないでください。 サーバーが起動する場合もありますが、必要な ファンが取り付けられて稼働していない状態で サーバーを動作させないでください。



表 1. ファン構成						
構成	ファンベ イ1	ファンベ イ2	ファンベ イ3	ファンベ イ4	ファンベ イ5	ファンベ イ6
シングルプロ セッサー	ファンブ ランク	ファンブ ランク	ファン	ファン	ファン	ファン
デュアルプロ セッサー	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン

ベースシングルプロセッサー構成の場合、冗長化のために特定のファンベイに4つのファンと2つのブランクが必要です。 ファンの障害やファンの欠落が発生すると、冗長性を損ないます。2番目のファンの障害やファンの欠落が発生すると、 サーバーが通常の方法でシャットダウンされます。

デュアルプロセッサー構成の場合は、冗長化のために6つのファンが必要です。ファンの障害やファンの欠落が発生する と、冗長性を損ないます。2番目のファンの障害やファンの欠落が発生すると、サーバーが通常の方法でシャットダウンさ れます。

特定の構成では高性能ファンが必要になる場合があります。

- オプションのGPUライザーの取り付け
- ASHRAE準拠の構成 詳しくは、<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>を参照してください。

サーバーはファンの回転速度の変更をサポートしています。温度が上昇し、ファンの回転速度を上げてサーバーを冷却する 必要が発生するまでは、ファンは最小限の速度で回転します。サーバーは、温度に関連した以下の場合にシャットダウンし ます。

- 注意レベルの温度が検出された場合、iL0 7は、POST実行時およびOSで、通常の方法のシャットダウンを実行します。通常のシャットダウンが行われる前にサーバーハードウェアが重大レベルの温度を検出した場合、サーバーが即時シャットダウンを実行します。
- 高温シャットダウン機能がBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で無効に設定されている場合、注意レベルの温度が検出 されても、iL07は通常の方法のシャットダウンを実行しません。この機能が無効に設定されている場合でも、重大な温 度レベルが検出されると、サーバーハードウェアは即時シャットダウンを実行します。



サポートされるPCIeフォームファクター

すべてのスロットは、フルハイトの拡張カードをサポートします。以下の情報を使用して、各スロットでサポートされている長さを探します。

プライマリライザーコネクター

PCIeスロットとカードの長さ	3スロットライザー*	3スロットライザー(オプション)
スロット1 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x8 (8, 4, 2, 1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット2 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット3 - ハーフレングス/フルハイ ト (HL/FH)	PCIe5 x8 (8, 4, 2, 1)	PCIe5 x16 (16, 8, 4, 2, 1)

*3 x16ライザーキットを取り付けると、すべてのスロットがPCIe5 x16フルレングスおよびフルハイトをサポートします。

セカンダリライザーコネクター

PCIeスロットとカードの長さ	3スロットライザー*	3スロットライザー(オプション)
スロット1 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x8 (8, 4, 2, 1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット2 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16, 8, 4, 2, 1)
スロット3 - ハーフレングス/フルハイ ト (HL/FH)	PCIe5 x8 (8, 4, 2, 1)	PCIe5 x16 (16, 8, 4, 2, 1)

*3 x16ライザーキットを取り付けると、すべてのスロットがPCIe5 x16フルレングスおよびフルハイトをサポートします。

ターシャリライザーコネクター

PCIeスロッ	トとカー	ドの長さ
---------	------	------

2スロットライザー(オプション)

スロット7 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x16 (16, 8, 4, 2, 1)
スロット8 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x8 (8、4、2、1) またはPCIe4 x16 (16、8、4、2、 1)

Systems Insight Displayにアクセスする

このタスクについて

Systems Insight DisplayはSFF (2.5型) モデルでのみサポートされます。

手順

1. パネルを押してロックを解放します。



2. ディスプレイを完全に取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



Trusted Platform Module 2.0

Trusted Platform Module 2.0 (TPM) $\succeq \mbox{it}$:

- システムボードに組み込まれています
- プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ 機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます

• 特定のオペレーティングシステム (Microsoft Windows Server 2012 R2以降など) でサポートされます

オペレーティングシステムサポートについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<u>https://www.hpe.com/info/quickspecs</u>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

Microsoft WindowsのBitLockerドライブ暗号化機能について詳しくは、MicrosoftのWebサイト (<u>https://www.microsoft.com</u>) を参照してください。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

🔨 注意

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、 TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これに は、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア(システ ムボードやドライブなど)の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
- OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。
- TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成_> BIOS/プラットフォーム構成(RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Moduleオプションを選択します。詳 しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。

https://www.hpe.com/support/UEFIGen12-UG-en

- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- HPEは、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。
- サブトピック

BitLockerリカバリキー/パスワードの保管のガイドライン

BitLockerリカバリキー/パスワードの保管のガイドライン

リカバリキー/パスワードは、BitLockerのセットアップ時に生成され、BitLockerを有効にした後に保存および印刷できま す。BitLockerを使用する際は、常に、リカバリキー/パスワードを保管してください。システム整合性が侵害された可能性 をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキー/パスワードが必要です。

最大限のセキュリティを確保できるように、リカバリキー/パスワードを保管する際は、次のガイドラインに従ってください。

- リカバリキー/パスワードは必ず、複数の場所に保管してください。
- リカバリキー/パスワードのコピーは必ず、サーバーから離れた場所に保管してください。
- リカバリキー/パスワードを、暗号化されたドライブに保存しないでください。

システムバッテリの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッ テリが内蔵されています。

警告 このバッテリの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性がありま す。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- バッテリを再充電しないでください。
- 60°C以上の高温にさらさないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリを低い空気圧にさらさないでください。
- バッテリを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。
 また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

ハードウェアオプション

サブトピック

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs <u>ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン</u> 取り付け前の手順 取り付け後の手順 冷却 ドライブ <u>ドライブおよび多目的ケージ</u> **Energy Pack** <u>GPU</u> 管理 <u>メディアデバイス</u> <u>メモリ</u> ネットワーク <u>0Sブートデバイス</u> 雷源装置 <u>プロセッサーとヒートシンク</u> <u>ラックレールとCMA</u> <u>ライザーとライザーケージ</u> <u>セキュリティ</u> <u>ストレージコントローラー</u>

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Webサイト(<u>https://www.hpe.com/info/quickspecs</u>)を検索 して製品のQuickSpecsを参照してください。

サポートされるオプション

- サポートされている構成
- コンポーネントの互換性
- 新機能
- 仕様
- 部品番号

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと<u>静電気放電</u>を引き起こす可能性が あります。

- サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

取り付け前の手順

サブトピック

<u>サーバーデータバックアップ</u> サーバーの電源を切る ケーブルマネジメントアームの開閉 <u>ラックからサーバーを引き出す</u> <u>ラックからサーバーを取り外す</u> <u>ベゼルを取り外す</u> <u>アクセスパネルを取り外す</u> <u>ファンケージを取り外す</u> <u>エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外す</u> <u>ライザーケージを取り外す</u>

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやト ラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、シス テムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性 があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバーとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 UEFIシステムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFIユー ザーガイド(<u>https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks</u>)を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - ・ 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック(HPE Trusted Supply Chain サーバー用)に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品ID
- iL0関連データ iL0バックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iL0のユーザーガイド (https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks) を参照してください。
 - 。 iLOのライセンス
 - お客様のiL0ユーザー名、パスワード、およびDNS名
 - iL0構成設定

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、<u>重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを</u> 実行してください。

1 重要 サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- 電源ボタンを押して離します。
 この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
 この方法は、正しい順序でアプリケーションと0Sを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- iL0 7経由の仮想電源ボタンを使用します。

この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSを正しい順序でリモートでシャットダウ ンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード(システム電源LEDがオレンジ色)になっていることを確認してください。

ケーブルマネジメントアームの開閉

このタスクについて

手順

1. リリースラッチを押して、ケーブルマネジメントアームを開きます。

⊘ 注記

ラッチは内側からも外側からも解除できます。



2. ケーブルマネジメントアームを閉じるには、エルボブラケットの位置を合わせてアウターレールに取り付けます。



ラックからサーバーを引き出す

このタスクについて

警告 けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き出す前 に、ラックが十分に安定していることを確認してください。

手順

- 1. サーバーの正面左右にあるクイックリリースレバーを引き下ろします。
- 2. 必要に応じて、T-25トルクスドライバーを使用して輸送用ネジを緩めます。



3. サーバーをラックから引き出します。

警告
 サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してくだ
 さい。インナーレールに指をはさむ場合があります。



ラックからサーバーを取り外す

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 。 ラックに関する警告と注意事項
 - 。 サーバーに関する警告と注意事項
- T-25トルクスドライバー

このタスクについて

Hewlett Packard Enterprise製、Compaqブランド、Telco、または他社製ラックからサーバーを取り外すには、以下の手順に従ってください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. 背面のケーブル接続を外します。
- 3. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- 4. レールラッチを解除して、サーバーをラックから取り外します。



5. サーバーを安定した水平な面に置きます。

ベゼルを取り外す

手順

1. Kensingtonセキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。



2. ベゼルを取り外します。



アクセスパネルを取り外す

このタスクについて





アクセスパネルを開いた状態または取り外した状態で、シャーシを長期にわたって動作させ ないでください。このようなマナーでシャーシを動作させると、不適切な通気および不適切 な冷却により、温度損傷につながる可能性があります。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
- 3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. ロック用ラッチを開くかロックを解除し、アクセスパネルをシャーシの背面側にスライドさせて、アクセスパネルを取 り外します。



ファンケージを取り外す

このタスクについて

注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでくだ さい。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われないために冷却機構 が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

)重要

1

最適な冷却を行うには、すべてのプライマリファンの位置にファンを取り付けてください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - サーバーをラックから取り外します。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. ファンケージを取り外します。



エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外す

このタスクについて

注意 バッテリパックをキャッシュモジュールに接続しているケーブルは外さないでください。 ケーブルを取り外すと、キャッシュモジュール内の保存されていないデータが消失します。

注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、 拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ 対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑 えてください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>ラックからサーバーを取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. 次のいずれかを実行します。
 - エアバッフルを取り外します。



最高性能ヒートシンクを搭載したシステムの場合:



- ミッドプレーンドライブケージを取り外します。
- a. すべてのケーブルを取り外します。
- b. ドライブをすべて取り外します。
 必ず、各ドライブの位置をメモしてください。
- c. ドライブケージを取り外します。
 4LFF(3.5型)バージョンが表示されています。

ドライブケージをシステムボードに落とさないでください。システムボードにドラ イブケージを落とすと、システムまたはコンポーネントが損傷する可能性がありま す。すべてのドライブを取り外してから、両手を使用してドライブケージを取り付 けたり取り外したりしてください。



ライザーケージを取り外す

このタスクについて

注意 サーバーまたは拡張ボードの損傷を防止するために、サーバーの電源を拡張ボード、電源を 切るか、すべての電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取り付 けを行ってください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. ライザーケージを取り外します。
 - プライマリおよびセカンダリライザーケージ



• ターシャリライザーケージ



取り付け後の手順

サブトピック

アクセスパネルを取り付ける ファンケージを取り付ける エアバッフルを取り付ける サーバーの電源を入れる

アクセスパネルを取り付ける

手順

- ラッチを開いたまま、アクセスパネルをサーバーの上に置きます。
 アクセスパネルの位置をずらして、サーバーの背面側から約1.25 cm (0.5インチ) 出るようにしてください。
- 2. ラッチを押し下げます。

アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。

3. 必要に応じて、ラッチのセキュリティネジを締めます。



ファンケージを取り付ける

このタスクについて





エアバッフルを取り付ける

手順

1. 次のアラートに注意してください。



適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフ ル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホット プラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最 小限に抑えてください。

注意 バッテリパックをキャッシュモジュールに接続しているケーブルは外さないでください。 ケーブルを取り外すと、キャッシュモジュール内の保存されていないデータが消失します。

2. エアバッフルを取り付けます。



最高性能ヒートシンクを搭載したシステムの場合:



サーバーの電源を入れる

手順

- 電源ボタンを押します。
- iL0 7経由の仮想電源ボタンを使用します。

サブトピック

<u>高性能ファンの取り付け</u>

高性能ファンの取り付け

このタスクについて



手順

- 1. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- 2. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 3. ファンのブランクが取り付けられている場合は、すべて取り外します。



4. すべての標準ファンを取り外します。





5. すべてのファンベイに高性能ファンを取り付けます。



6. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ドライブ

サブトピック

<u>ドライブのガイドライン</u> <u>ホットプラグ対応LFF (3.5型) /SFF (2.5型) SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け</u> <u>E3.Sドライブの取り付け</u>

ドライブのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

• システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。

- ハードドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。
 ドライブ番号については、「ドライブベイの番号」を参照してください。
- NVMe SSDはPCIeバスデバイスです。PCIeバスに接続されたデバイスは、デバイスとバスの信号またはトラフィックフローが完全に終了するまで取り外すことはできません。
 取り外し禁止ボタンのLEDが点滅している場合は、ドライブベイからNVMe SSDを取り外さないでください。取り外し禁止ボタンのLEDの点滅は、デバイスがまだ使用されていることを示します。デバイスの信号またはトラフィックフローが完全に終了する前にNVMe SSDを取り外すと、データが消失する可能性があります。
- 容量が同じドライブを同じドライブアレイにグループ化すると、ストレージの容量効率が最大になります。

ホットプラグ対応LFF (3.5型)/SFF (2.5型) SAS、SATA、またはNVMeドライブの 取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバ イスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、<u>静電気防止の注意事項</u>に 従ってください。

注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コン ポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

• LFF (3.5型) ドライブブランク



• SFF (2.5型) ドライブブランク



- 2. ドライブを準備します。
 - LFF (3.5型) ドライブ



• SFF (2.5型) ドライブ



- 3. ドライブを取り付けます。
 - LFF (3.5型) ドライブ



• SFF (2.5型) ドライブ



- 4. <u>ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します</u>。
- 5. 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。
- 6. <u>コントローラーを構成します</u>。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

E3.Sドライブの取り付け

このタスクについて

注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバ イスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、<u>静電気防止の注意事項</u>に 従ってください。

△ 注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コン ポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

- 1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- 2. <u>ドライブのLEDステータスを確認</u>し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
- 3. ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。


4. ドライブを準備します。



5. ドライブを取り付けます。



- 6. <u>ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します</u>。
- 7. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- 8. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブおよび多目的ケージ

サブトピック

<u>フロント多目的ケージの取り付け</u> <u>フロント4 EDSFF ドライブキットの取り付け</u> <u>フロント8 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け</u> <u>フロント2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケージの取り付け</u> <u>スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け</u> <u>ミッドプレーンドライブケージの取り付け</u> <u>スタックしたリア2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け</u>

フロント多目的ケージの取り付け

前提条件

多目的ケージを取り付ける前に:

- T-15トルクスドライバーが必要です。
- 多目的ケージ用のオプションがある場合は、最初にそれらのオプションを取り付けてください。

このタスクについて

多目的ケージは、任意のボックスに取り付けることができます。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. T-15トルクスドライバーを使用して、ドライブケージブランクを取り外します。



8. 多目的ケージを取り付けます。



9. T-15トルクスドライバーを使用して、ケージを固定します。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

フロント4 EDSFFドライブキットの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバー、またはトルクドライバーとT-15トルクスビットを用意しておきます。

このタスクについて

このキットは、EDSFFケージまたは多目的ケージに取り付けることができます。

- フロントOCPまたはNS204i-uオプションを備えた多目的ケージにキットを取り付ける場合は、ケージ1に取り付ける必要 があります。
- キットをEDSFFケージに取り付ける場合は、任意のケージに取り付けることができます。



- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. バックプレーンを取り付けるケージを決定します。
- EDSFFケージ上のバックプレーンサポートを見つけます。
 各ケージに、サポートのセットがあります。ケージ1を示します。



T-15トルクスドライバーを使用して、バックプレーンを取り付けます。
 バックプレーンをサポートの間に合わせます。



- 10. (オプション)必要に応じて追加のバックプレーンを取り付けます。
- 11. <u>EDSFFケージを取り付けます</u>。

ケージはボックス1、2、3に取り付けることができます。

- 12. <u>電源ケーブルをドライブバックブレーンの電源コネクターに接続します</u>。
- 13. <u>データケーブルをドライブバックプレーンからコントローラーに接続します</u>。
- 14. ドライブブランクまたは<u>ドライブを取り付けます</u>。

以上で取り付けは完了です。

フロント8 SFF(2.5型)ドライブケージの取り付け

このタスクについて

ドライブケージは、どのボックスにも取り付けることができます。

!\ 警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネン トが十分に冷めてから手を触れてください。

🔨 注意

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を 開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. ドライブケージブランクを取り外します。



8. ドライブケージを取り付けます。



- 9. <u>電源ケーブルをドライブバックブレーンの電源コネクターに接続します</u>。
- 10. <u>データケーブルをドライブバックプレーンからNVMeライザーに接続します</u>。
- 11. ドライブブランクまたは<u>ドライブを取り付けます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

フロント2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケージの取り付け

/ 警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を 開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. ドライブケージブランクを取り外します。
- 8. サポートブラケットを取り外します。



9. ドライブケージを取り付けます。



- 10. <u>電源ケーブルをドライブバックブレーンの電源コネクターに接続します</u>。
- 11. <u>データケーブルをドライブバックプレーンからNVMeライザーに接続します</u>。
- 12. ドライブブランクまたは<u>ドライブを取り付けます</u>。
- 13. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 14. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 15. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 16. 各電源コードを電源に接続します。
- 17. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- この取り付けには、ユニバーサルメディアベイが必要です。

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. ドライブケージブランクを取り外します。



6. ユニバーサルメディアベイからオプティカルディスクドライブトレイを取り外します。



- 7. ユニバーサルメディアベイからSFF(2.5型)ドライブブランクを取り外します。
 - HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド 83



8. ドライブケージにグロメットを取り付けます。



9. ユニバーサルメディアベイにドライブケージを取り付けます。



10. オプティカルディスクドライブトレイを取り付けます。



- 11. <u>ユニバーサルメディアベイを取り付けます</u>。
- 12. <u>電源ケーブルおよびデータケーブルを接続します</u>。
- 13. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 14. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 15. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 16. 各電源コードを電源に接続します。
- 17. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

ミッドプレーンドライブケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してください。

このタスクについて

• このオプションを取り付ける場合は、プロセッサーごとに1U高性能ヒートシンクが必要です。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. エアバッフルを取り外します。

取り外したエアバッフルは必要ありません。ドライブケージは、サーバーのエアバッフルとして機能します。

6. すべてのライザーケージを取り外します。





- 7. ドライブケージのラッチを引き上げてドライブケージの取り付けの準備を行います。
- 8. ドライブケージを取り付けます。

▲ 注意

ドライブケージをシステムボードに落とさないでください。システムボードにドライブ ケージを落とすと、システムまたはコンポーネントが損傷する可能性があります。すべて のドライブを取り外してから、両手を使用してドライブケージを取り付けたり取り外した りしてください。

- a. ドライブケージの背面で位置決めピンを探します。
- b. ドライブケージの背面左側のピンをサーバーに合わせてから、ピンを挿入します。
- c. ドライブケージの反対側をゆっくり下げます。
- d. ドライブケージの背面右側のプランジャーピンを引き出して、プランジャーピンがかみ合うまでドライブケージを下 げます。



- 9. ドライブブランクまたはドライブを取り付けます。
- 10. ラッチを下に押して、所定の位置にドライブケージを下げます。



- 11. <u>電源ケーブルとデータケーブルをドライブバックプレーンに接続します</u>。
- 12. <u>ライザーケージを取り付けます</u>。
- 13. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 14. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 15. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 16. 各電源コードを電源に接続します。

17. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

スタックしたリア2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- フロントベイに12個のLFF(3.5型)ドライブまたは24個のSFF(2.5型)ドライブが完全に取り付けられている必要がある
- すべてのファンベイに高性能ファンが取り付けられている必要がある

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. 次のいずれかを実行します。
 - セカンダリライザーケージが取り付けられている場合は取り外します。



セカンダリウォールブランクを取り外します。



6. ターシャリウォールブランクを取り外します。



7. ドライブケージにグロメットを取り付けます。



8. ドライブケージを取り付けます。





- 9. ドライブブランクまたは<u>ドライブを取り付けます</u>。
- 10. セカンダリリアウォールまたはセカンダリライザーケージを取り付けます。
- 11. <u>ドライブバックプレーンの配線を行います</u>。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源に接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

Energy Pack

サブトピック

<u>最小ファームウェアバージョン</u> <u>HPE Smartストレージバッテリ</u> <u>HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター</u> Smartストレージバッテリ/キャパシターの取り付け

最小ファームウェアバージョン

集	
袚	88

最小ファームウェアバージョン

3< AA	
サーバーシステムROM	1. 20
	50 04 0 4040

HPE MRタイプoおよびタイプp Gen11コントローラー 52.24.3-4948

HPE Smartストレージバッテリ

1個の96Wバッテリで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、 バッテリがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリをサポートします。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

コンデンサーパックは、最大3つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、145 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファー ムウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。

 ! 重要
 システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョン よりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

Smartストレージバッテリ/キャパシターの取り付け

前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. Energy Packを取り付けます。



- 6. 必要に応じて、延長ケーブルを接続します。
- 7. <u>ケーブルをシステムボードに接続します</u>。
- 8. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 9. サーバーをラックに取り付けます。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 11. 各電源コードを電源に接続します。
- 12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

GPU

サブトピック

アクセラレータまたはGPUの取り付け

アクセラレータまたはGPUの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-30トルクスドライバー
- T-10トルクスドライバー
- このオプションを使用するには、高性能のヒートシンクが取り付けられている必要があります。

このタスクについて

アクセラレータまたはGPUは、プライマリ、セカンダリ、またはターシャリの位置に取り付けることができます。ここでは、セカンダリの位置に取り付ける場合の手順を示します。

手順

1. 次のアラートに注意してください。



不適切な冷却や高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに拡張ス ロットカバーまたは拡張ボードが取り付けられている場合を除き、サーバーを動作させな いでください。

- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. エアバッフルを取り外します。
- 7. エアバッフルに適切なサポートブラケットを取り付けます。

ご使用の構成をサポートしているブラケットを取り付けます。プライマリ、セカンダリ、およびターシャリの位置が示されています。



8. ライザーケージを取り外します。



9. ライザーケージから適切なPCIeブランクを取り外します。



10. 製造者が提供するGPUエクステンダーブラケットを取り付けます。



11. GPUをライザーに取り付けます。



- 12. <u>GPU電源ケーブルを接続します</u>。
- 13. 必要に応じて、サポートブラケットを開きます。



14. ライザーケージを取り付けます。



15. 固定用クリップをロック位置まで閉じます。



- 16. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 17. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 18. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 19. 各電源コードを電源に接続します。
- 20. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

管理

サブトピック

<u>Systems Insight Displayの取り付け</u> リアシリアルポートインターフェイスの取り付け

Systems Insight Displayの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

Systems Insight DisplayはSFF (2.5型) モデルでのみサポートされます。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. 次のいずれかを実行します。
 - エアバッフルを取り外します。
 - <u>ミッドプレーンドライブケージが取り付けられている場合は、取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. T-10ドライバーを使用して、電源スイッチモジュールブランクを取り外します。T-10ネジは保管しておいてください。



8. サーバー前面の開口部を通してSIDケーブルを配線し、SIDモジュールを取り付けます。T-10ネジを使用して、モジュー ルを固定します。



9. <u>SIDモジュールケーブルをSIDモジュールコネクターに接続します</u>。

注意 ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない 位置に配線してください。

- 10. <u>ファンケージを取り付けます</u>。
- 11. 次のいずれかを実行します。
 - <u>エアバッフルを取り付けます</u>。
 - <u>ミッドプレーンドライブケージを取り付けます</u>。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源に接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

リアシリアルポートインターフェイスの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。 ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. シリアルポートブランクを取り外します。



6. シリアルポートインターフェイスを取り付けます。



- 7. ケーブルをシステムボードに接続します。
- 8. アクセスパネルを取り付けます。
- 9. サーバーをラックに取り付けます。
- 10. 各電源コードをサーバーに接続します。

11. 各電源コードを電源に接続します。

12. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

メディアデバイス

サブトピック

<u>SFF (2.5型) シャーシへのユニバーサルメディアベイの取り付け</u> LFF (3.5型) シャーシへのユニバーサルメディアベイの取り付け SFF (2.5型) ユニバーサルメディアベイへのオプティカルディスクドライブの取り付け LFF (3.5型) ユニバーサルメディアベイへのオプティカルディスクドライブの取り付け

SFF (2.5型) シャーシへのユニバーサルメディアベイの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. ベイブランクを取り外します。



- 8. 開口部を通してUSBとビデオのケーブルを配線します。
- 9. スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケージを取り付ける場合は、<u>ドライブケージを取り付けます</u>。
- 10. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。



- 11. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 12. アクセスパネルを取り付けます。
- 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。

- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源に接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

LFF (3.5型) シャーシへのユニバーサルメディアベイの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - サーバーをラックから取り外します。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. <u>エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. ベイブランクを取り外します。
- 8. サポートブラケットを取り外します。



- 9. 開口部を通してケーブルを配線します。
- 10. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。



- 11. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源に接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

以上で取り付けは完了です。

SFF (2.5型) ユニバーサルメディアベイへのオプティカルディスクドライブの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブブランクを取り外します。



8. オプティカルドライブをユニバーサルメディアベイに取り付け、ネジを取り付けます。



- 9. <u>オプティカルディスクドライブをケーブルで接続します</u>。
- 10. ファンケージを取り付けます。
- 11. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り付けます。
- 12. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源に接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。
取り付け手順は完了です。

LFF (3.5型) ユニバーサルメディアベイへのオプティカルディスクドライブの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブブランクを取り外します。
 ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



8. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



9. オプティカルディスクドライブを取り付けます。



- 10. ファンケージを取り付けます。
- 11. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り付けます。
- 12. アクセスパネルを取り付けます。
- 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 15. 各電源コードを電源に接続します。
- 16. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリ

サブトピック

<u>メモリ取り付け情報</u>
<u>DIMMラベルの識別</u>
<u>DIMMプロセッサーの互換性</u>
<u>DIMMの取り付け</u>

メモリ取り付け情報

特定のメモリ取り付けについては、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<u>https://www.hpe.com/docs/server-</u> <u>memory</u>) にあるメモリの取り付けガイドラインを参照してください。

DIMMラベルの識別

DIMMの特長を確認するには、DIMMに貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用してDIMMの仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 SmartメモリのQuickSpecsを参照してく ださい。

https://www.hpe.com/docs/server-memory



番号 説明		例
1	容量*	16 GB
		32 GB
		64 GB
		96 GB
		128 GB
		256 GB
2	ランク	1R - シングルランク
		2R - デュアルランク
		4R - クアッドランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット
		x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 – DDR5
5	メモリの最大速度*	6400 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42
7	DIMMタイプ	R - RDIMM(レジスター付 き)

*メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサーモデルの総合的な組み合わせによって 決まります。

DIMMプロセッサーの互換性

第4世代Intel Xeonスケーラブルプロセッサーは、DDR5-5600または6400 DIMMをサポートします。 DIMMを混在させないでください。サポートされているDIMMのみをサーバーに取り付けてください。

DIMMの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。 ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

個々のオプションについて詳しくは、サーバーのQuickSpecsを<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>で参照してくださ い。

このタスクについて

このサーバーは、最大32枚のDIMMをサポートします。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - a. <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - b. <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. DIMMスロットのラッチを開きます。



- 7. 以下のいずれかを実行します。
 - 最高性能ヒートシンクを搭載していないシステムの場合は、DIMMを取り付けます。



 最大性能ヒートシンクを搭載したシステムの場合、DIMMをヒートシンクウィングの下に配置してから、DIMMを取り 付けます。

注意

高温面でやけどをしないように、ヒートシンクの温度が十分下がるまで少なくとも5分間待ってから手を触れてください。



- 8. エアバッフルを取り付けます。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをラックに取り付けます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

メモリモードを構成するには、UEFIシステムユーティリティのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を使用します。

LEDおよび障害が発生したDIMMのトラブルシューティングについて詳しくは、<u>Systems Insight Display LEDの組み合わせに</u> <u>ついての説明</u>を参照してください。

ネットワーク

サブトピック

<u>フロント0CPネットワークイネーブルメントキットについて</u> <u>0CPイネーブルメントキットの取り付け</u> <u>リア0CPネットワークアダプターの取り付け</u> <u>PCIeネットワークアダプターの取り付け</u>

フロントOCPネットワークイネーブルメントキットについて

このキットは、次のコンポーネントを使用して、フロントOCPスロットとリアOCPスロット間で信号を送受信します。

- 0CPケージ
- PHYボード
- インターポーザー
- ケーブル接続

以下の点に注意してください。

- OCPケージにはOCP 3. ONICアダプターを収納します。
- PHYボードは、アダプターからインターポーザーに信号を提供します。
- インターポーザーは、PHYボードからの信号を、リアOCPスロット経由でシステムボードに変換します。



OCPイネーブルメントキットの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-15トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて

注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバ イスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、<u>静電気防止の注意事項</u>に 従ってください。

注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コン ポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

- フロントOCP NICブラケットを取り付ける
- 1. 多目的ケージから2本のT-15ネジを取り外します。

これらのネジは、フロントOCP NICブラケットを取り付けるために保管しておいてください。



2. フロントOCP NICブラケットをケージの中にスライドさせ、ブラケットを2本のT-15ネジで固定します。



フロントOCP NICケーブルを取り付ける

フロントOCP NICケーブルのプラスチック製タブをブラケットの切り込みに挿入し、ケーブルのネジを固定します。
 プラスチック製タブがブラケットに固定されていることを確認してください。



PHYボードを取り付ける





5. 多目的ケージにPHYボードブラケットを取り付けます。



6. フロントOCP NICケーブルをPHYボードに接続します。

OCP NICキャリアとブラケットを取り付ける

7. OCP NICブラケットを取り外します。



8. OCP NICアダプターをOCP NICキャリアの中にスライドさせます。



9. OCP NICブラケットを取り付けます。



10. フロントOCP NICアダプターを取り付けます。

キャリアのラッチがブラケットにロックされたことを示すカチッという音がします。

• プライマリフロントOCP NICアダプター



• セカンダリフロントOCP NICアダプター



OCP NICインターポーザーを取り付ける 11. OCPスロットブランクを取り外します。





- 12. OCP NICインターポーザーを取り付けます。
 - a. 固定ピンをオープン(縦)位置まで回します。
 - b. カチッとはまるまで、インターポーザーをスロットの中にスライドさせます。
 インターポーザーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
 - c. 固定ピンをクローズ(横)位置まで回します。



- 13. <u>ケーブルをインターポーザに接続します</u>。
- 14. ファンケージを取り付けます。
- 15. <u>エアバッフルを取り付けます</u>。
- 16. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 17. <u>サーバーをラックに取り付けます</u>。
- 18. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 19. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 20. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 21. <u>サーバーの電源を入れます</u>。
- 22. <u>UEF1システムユーティリティでiL0共有NICポートを有効にします</u>。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

リアOCPネットワークアダプターの取り付け

前提条件

この手順を始める前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
- 6. 0CPアダプターブランクを取り外します。



7. ネットワークアダプターを取り付けます。



- 8. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

PCIeネットワークアダプターの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。 ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

このタスクについて



コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. ライザーケージを取り外します。



6. PCIeブランクを特定して、ライザーケージから取り外します。



7. 拡張ボードを取り付けます。



8. ライザーケージを取り付けます。



- 9. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 10. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 11. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源に接続します。
- 14. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

OSブートデバイス

サブトピック

<u>ブートデバイスドライブの取り付け</u> <u>フロントHPE NS204iブートデバイスの取り付け</u> <u>リアNS204i-uブートデバイスの取り付け</u>

ブートデバイスドライブの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、プラスドライバー(No.1)を用意しておきます。

手順

1. ボタンを押してキャリアを引き出します。



2. SSD取り付けネジを取り外します。



- 3. SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します。
- 4. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます。
- 5. SSDの取り付けネジを取り付けます。



- 6. 2つ目のM.2 SSDがキャリアアセンブリに取り付けられている場合、手順1と2を繰り返します。
- 7. ドライブキャリアを合わせて取り付けます。



8. キャリアを固定し、デバイスケージにラッチが固定されていることを確認します。



フロントHPE NS204iブートデバイスの取り付け

前提条件

ブートデバイスを取り付ける前に:

- T-15トルクスドライバー、またはビットドライバーとT-15トルクスビットが必要です。
- すべてのシステムファームウェアをアップデートします。
- ブートデバイスドライブを取り付けます。

このタスクについて

ブートデバイスは、多目的ケージのケージ2に取り付ける必要があります。



手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>エアバッフルを取り外します</u>。
- 6. <u>ファンケージを取り外します</u>。
- 7. デバイスケージ上で、ラッチポイントを見つけます。



8. エアバッフルを取り付けます。



9. ブートデバイスケージを取り付けます。



10. デバイスが完全に取り付けられていることを確認し、ケージに固定します。



11. フロントブートデバイスを多目的ケージに取り付けます。



- 12. <u>多目的ケージを取り付けます</u>。
- 13. <u>電源ケーブルをコネクターに接続します</u>。



14. <u>データケーブルを接続します</u>。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

リアNS204i-uブートデバイスの取り付け

前提条件

デバイスを取り付ける前に:

- T-10トルクスドライバーが必要です。
- サーバーを最新のファームウェアとドライバーでアップデートします。

このタスクについて

以下の点に注意してください。

- デバイスは起動時にRAID1ボリュームを作成します。構成は必要ありません。
- <u>ブートデバイスのコンポーネントを識別します</u>。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>M.2ドライブを取り付けます</u>。
- 6. マウンティングブラケットを取り付けます。



T-10トルクスドライバーを使用して、セキュリティカバーを取り外します。
 ドライブにアクセスする必要がない場合は、セキュリティカバーを取り付けたままにしてください。



8. T-10トルクスドライバーを使用して、ブートデバイスを取り付けます。



- 9. <u>ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します</u>。
- 10. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 11. サーバーをラックに取り付けます。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源に接続します。
- 14. <u>サーバーの電源を入れます</u>。
- 15. <u>ブートデバイスのオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

電源装置

サブトピック

<u>電源装置に関する警告と注意事項</u> <u>ホットプラグ対応電源装置に関する計算</u> <u>AC電源装置の取り付け</u> <u>DC電源装置に関する警告と注意事項</u> <u>DC電源失置のワイヤーの色</u> <u>DC電源装置の取り付け</u>

電源装置に関する警告と注意事項



ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<u>https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online</u>) を参照してください。

AC電源装置の取り付け

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、<u>電源装置に関する警告と注意事項</u>をお読みください。

このタスクについて



- 手順
- 1. 電源装置ブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



2. 電源装置を取り付けます。



- 3. 電源コードを電源装置に接続します。
- 4. 電源コードを固定します。

▲ 注意

電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲 げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほ どきつく曲げないでください。



- 5. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC電源装置に関する警告と注意事項

警告 感電の危険を減らすため、必ずケーブルのアースキットを正しく取り付け、適切な保護用 アース端子に接続してから、ラックに電源を接続してください。

注意

この装置は、DC供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

- この装置は、DC供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末の バーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- この装置は、同じDC供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、およびDCシステムのアースポイントと同じ隣接区域(隣接するキャビネットなど)に設置する必要があります。DCシステムは、別の場所でアースされている必要があります。
- DC供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- スイッチや電源切断用のデバイスは、DC供給源とアース電極導体の接続ポイントの間に ある、アースされている回路導体には置かないでください。

DC電源ケーブルのDC電源への接続

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- 電線カッター
- 手動圧着工具

このタスクについて

警告

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- この装置は、訓練を受けたサービス担当者が、地方および地域の電気規定および規制に 従って設置する必要があります
- 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダ リ回路はプライマリ回路と直接の接続はなく、変圧器、コンバーター、または同等の隔 離装置から電力を得ます。
- DC電源の過電流保護は45 Aを超えてはなりません。

警告

DC電源装置を取り付ける際には、正極または負極リードを接続する前にアース線を接続する 必要があります。

警告

電源装置の取り付け手順やメンテナンスを実行する前に、電源装置の電源を切ってくださ い。

注意

サーバー装置で、DC供給回路のアースされている導体とアース用導体が接続されます。詳し くは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

注意

DC供給回路のアースされている導体とアース用導体がサーバー装置でDC接続されている場合は、次の条件を満たす必要があります。

- この装置は、DC供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端子の バーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- 装置は、同じDC供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、およびDCシステムのアースポイントと同じ隣接区域(隣接するキャビネットなど)に設置してください。DCシステムは、別の場所でアースされている必要があります。
- DC供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- スイッチや電源切断用のデバイスは、DC供給源とアース電極導体の接続ポイントの間に ある、アースされている回路導体には置かないでください。

手順

1. DC電源コードが150.00 cm (59.06インチ) 以上になるように切ります。

!) 重要

 (\mathbf{I})

リング端子は、UL認定の6 AWGワイヤーに対応するものである必要があります。

重要 ピラーまたはスタッドタイプの端子の最小公称ネジ径は、3.50 mm (0.138インチ) にする 必要があります。また、ネジタイプの端子の直径は、5.00 mm (0.197インチ) にする必要 があります。

- 2. 電源にリングトングが必要な場合は、圧着工具を使って電源コード線とアース線にリングトングを取り付けます。
- 同色ワイヤーごとにまとめて、同じ電源に取り付けます。
 詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

DC電源装置のワイヤーの色



ワイヤーの色	説明	ワイヤースロット
赤色	ラインワイヤー	-48V
黒色	リターンワイヤー	- Return
緑色+黄色	アース用ワイヤー	- 安全アース

DC電源装置の取り付け

前提条件

- 電源装置を取り付ける前に、以下の記載をお読みください。
 - 。 <u>電源装置に関する警告と注意事項</u>
 - 。 DC電源装置に関する警告と注意事項
 - 。 <u>DC電源装置のワイヤーの色</u>
- この手順を実行する前に、プラスドライバー(No. 2)を用意しておきます。
- 電源ケーブルを接続する前に、次の点を確認してください。
 - ・ お客様が用意した電源ケーブルで使用するために、オプションのP36877-B21 HPEラグキットをHPE製品販売店から購入できます。(以下にリストされている電源ケーブルとラグキットは、1600 W -48 VDC電源装置でのみ使用できます。)
 - 入力電源コードオプションを使用している場合は、P22173-B21 HPE 1600 W DC PSU電源ケーブルキットをHPE製品販売店から購入できます。
 - DC電源装置オプションキットには、電源装置のDCケーブルキットが付属していないため、電源装置ケーブルラグ キットが含まれていない場合があります。DCケーブルキット(オプション)またはDCケーブルラグキット(オプ ション)は、Hewlett Packard EnterpriseまたはHPE製品販売店から直接購入できます。詳しく は、<u>https://www.hpe.com/info/fsps-qs</u>にある電源装置のQuickSpecsを参照してください。

このタスクについて

入力電源コードオプションを使用しない場合、電源装置のケーブル接続は資格のある電気技師と相談した上で行い、ご使用 の地域の規定に準拠している必要があります。

/! 警告

感電、火災または装置の損傷を防止するために、この製品の取り付けについては、必ず、以 下のガイドラインに従ってください。

- HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライは、立ち入りが制限された場所に設置された Hewlett Packard Enterpriseサーバーへの取り付け専用です。
- HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライは、DC供給分岐回路に直接接続するものではありません。必ず、各DC電源装置用の独立した過電流保護の出力を提供するパワーディストリビューションユニット(PDU)に接続してください。PDUの過電流保護出力装置は、それぞれDC電源から利用可能な電流の障害を防止するのに適していなければなりません。
- PDU出力は、各電源装置への電力を切断する遮断器または回路ブレーカーを備えている必要があります。電源装置の電源を完全に切るには、PDUで電力を切断してください。最終的な電力供給先の製品は、複数の電源装置を備えている場合があります。そのような製品の電源を完全に切るには、各電源装置への電力を切断してください。
- この電源装置は、情報技術機器および通信機器に関する各国の適合した要件に従って、 SELVまたはTNVとして分類されたDC電源にのみ接続されます。通常、これらの要件は、 IEC 60950-1/IEC 62368-1のInternational Standard for Information Technology Equipmentに基づいています。各地域の電源に関する規定に従って、DC供給源にはアース 端子に確実に接続できる電極(Neutral/Return)が1本備わっている必要があります。
- 電源装置の前面にある電源装置アース用ネジを、必ず、適切なアース端子に接続してください。この端子は、各地域の電源に関する規定に従って、必ず、建物内の適切なアース端子に接続してください。十分なアースを継続して提供できるように、ラックまたはキャビネットシャーシの上に物を置かないでください。

警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブランク、または デュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

▲ 注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コン ポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. 電源装置から保護カバーを取り外します。



2. アース線のネジを取り外してから、リターンワイヤーとラインワイヤーのネジを取り外します。



3. アース線(緑色と黄色)をDC電源装置に接続し、ネジとワッシャーを1.47 N-m (13 lbf-in)で締めます。


- 4. リターンワイヤー(黒色)を取り付けます。
 - a. リターンワイヤーをDC電源装置のRTNスロットに挿入します。
 - b. 0.98 N-m (8.68 lbf-in)でネジを締めます。



- 5. ラインワイヤー(赤色)を取り付けます。
 - a. ラインワイヤーをDC電源装置の-48Vスロットに挿入します。
 - b. ネジを0.98 N-m (8.68 lbf-in)に締めます。



6. DC電源装置に保護カバーを取り付けます。

保護カバーがロックされていることを確認します。



7. アース、正のリターン、および負の入力ワイヤーをストレインリリーフストラップに固定します。





電源装置ベイ2に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブランクを取り外します。
 ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



9. 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



- 10. 必ず、-48 V DC電源をオフにするかPDUブレーカーをオフの位置にしてから、電源コードを-48 V DC電源またはPDUに接続します。
- 11. -48 V電源をオンにするかPDUブレーカーをオンの位置にして-48 Vの電力を電源装置に供給します。
- 12. <u>DC電源ケーブルとDC電源を接続します</u>。
- 13. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

プロセッサーとヒートシンク

サブトピック

<u>プロセッサーに関する注意事項</u> <u>プロセッサーまたはヒートシンクの取り付け</u> <u>直接液冷キットの接続</u>

プロセッサーに関する注意事項

🔨 注意

プロセッサーやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサーの 交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。

注意

サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサー構成では、必ず、同 じ部品番号のプロセッサーを使用してください。

注意

プロセッサーソケットとプロセッサーのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コン ポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れる と、システムボードやプロセッサーの交換が必要になる場合があります。

重要

(!)

1

プロセッサーソケット1には必ずプロセッサーを取り付けてください。ソケット1にプロセッ サーが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。

重要

以前より高速のプロセッサーを取り付ける場合は、プロセッサーを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードするには、 Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイト (<u>https://www.hpe.com/support/hpesc</u>) にアクセスしてください。

)重要

システムボードからプロセッサーを取り外した後、サーバーは日付と時刻をリセットします。これらの設定を再構成する方法については、システムの日付と時刻の設定を再構成す <u>る</u>を参照してください。

プロセッサーまたはヒートシンクの取り付け

前提条件

- ヒートシンクとプロセッサーソケットコンポーネントを特定します。
- プロセッサーに関する注意事項を確認します。
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 。 T-30トルクスドライバー
 - 1.0 gm (0.5 ml) x 2のサーマルグリース

このタスクについて

この手順は標準ヒートシンクを示していますが、手順はすべてのヒートシンクに適用されます。

- 標準ヒートシンク
- 高性能ヒートシンク
- 最高性能ヒートシンク
- ロープロファイル高性能ヒートシンク

注意 サーバーのオーバーヒートを防止するために、必ず、各ソケットにソケットカバーまたはブ ランクまたはプロセッサーとヒートシンクを取り付けてください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります。</u>
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 4. <u>サーバーをラックから取り外す</u>
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. エアバッフルと、ヒートシンクやプロセッサーへのアクセスを妨げるすべてのコンポーネントを取り外します。
- 7. ファンケージを取り外します。
- プロセッサーがキャリアに固定されていることを確認します。
 プロセッサーとキャリアは突起を合わせて固定します。キャリアに応じて異なるタブが異なる位置にあります。



a. ピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



b. プロセッサーがキャリアに固定されていることを確認します。



- 9. キャリアをヒートシンクに取り付けます。
 - a. サーマルグリースを塗ります。



新しいヒートシンクを使用する場合は、サーマルインターフェイスマテリアルから保護フィルムを取り外します。



• 同じヒートシンクを再利用する場合は、プロセッサーから古いグリースが拭き取られていることを確認してくだ

さい。グリースシリンジを使用して、プロセッサーの上部にグリースを塗ります。



b. キャリアとヒートシンク上のピン1インジケーターを見つけます。



c. プロセッサーキャリアが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをプロセッサーキャリアの上に下ろしま す。

ヒートシンクがプロセッサーキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。



d. ラッチがヒートシンクに固定されていることを確認します。



10. 傾き防止ワイヤーのロックを解除します。



11.

注意

温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部 がプロセッサーの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンク の動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コン パウンドのボイドは、プロセッサーからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

プロセッサーヒートシンクモジュールを取り付けます。

- a. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意します。
- b. ヒートシンクをガイドポストの上に合わせます。

ポストには固定するピンがあります。モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。



c. 傾き防止ワイヤーをロックします。



d. ヒートシンクのネジをトルク0.9 N-m (8 in-lb)に設定して締めます。



- 12. エアバッフルとその他の取り外したハードウェアコンポーネントを取り付けます。
- 13. アクセスパネルを取り付けます。
- 14. サーバーをラックに取り付けます。
- 15. 周辺装置のすべてのケーブルを接続します。
- 16. すべての電源コードを接続します。
- 17. サーバーの電源を入れます。
- 18. システムの日付と時刻を構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

サブトピック

システムの日付と時刻の設定の再構成

システムの日付と時刻の設定の再構成

手順

- 1. UEFIシステムユーティリティにアクセスします。POST中にF9キーを押します。
- 2. システムユーティリティ画面で、システム構成<u>>BIOS</u>/プラットフォーム構成(RBSU)<u>></u>日付と時刻を選択します。
- 3. 設定を選択し、項目を入力します。
 - 日付 (mm-dd-yyyy) 日付を月-日-年 (mm-dd-yyyy) 形式で入力します。
 - 時刻(hh:mm:ss) 時刻を24時間形式(hh:mm:ss)で入力します。
 - 時刻形式 12時間形式または24時間形式を選択します。(この設定はGen10 Plus以降のサーバーではサポートされていません。)

- 時間形式
 - 協定世界時(UTC) ハードウェアのReal Time Clock (RTC)に格納された時刻を、関連したタイムゾーン設定 から計算します。
 - 現地時間 タイムゾーン設定の使用を解除します。このオプションは、レガシーBIOSブートモードで設定されたWindowsオペレーティングシステムで発生する通信問題に対処する場合に役立ちます。
- タイムゾーン システムのタイムゾーンを選択します。
- サマータイム
 - 。 有効 表示された現地時間を夏時間に合わせて1時間だけ調節します。
 - 。 無効 表示された現地時間を夏時間に調節しません。
- 4. 設定を確認して保存するには、F12を押します。

サーバーが自動的に再起動します。

直接液冷キットの接続

前提条件

DLCホースキットが必要です。ホースキットは、DLCマニホールドをプロセッサーのコールドプレートに接続します。

このタスクについて

DLCシステムについて詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guideを参照してください: https://www.hpe.com/info/xdDLCguide

手順

1. サーバーの背面から、ライザーケージまたはNS204i-uブラケットから出ているホースを見つけます。

🖉 注記

画像は可能性のあるホースの位置を識別するためのものです。ホースはライザーケージま たはブートデバイスブラケットからのみ出します。両方から出すことはありません。



2. ホースからクイックコネクターキャップを取り外します。



3. 直接液冷キットをDLCマニホールドからサーバーに接続します。



ラックレールとCMA

サブトピック

<u>ラックマウントインターフェイス</u> <u>ラックレールのオプション</u> レール識別マーカー <u>ラックレールの取り付け</u> サーバーのラックへの取り付け <u>ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け</u> ケーブルマネジメントアームの準備 ケーブルマネジメントアームの取り付け

ラックマウントインターフェイス

ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

ラックレールのオブション

このサーバーは、SFF(2.5型)およびLFF(3.5型)ドライブ構成用のラックレール#3をサポートします。

レール識別マーカー

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル(フロントベゼルなし)の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致 していることを確認してください。

シャーシのレール番号ラベル



フリクションラックレールのインナーレールにあるレール識別子スタンプ



フリクションラックレールのマウンティングレールにあるレール識別子スタンプ



ラックレールの取り付け

前提条件

- <u>レールオプションがサーバー構成と互換性があることを確認してください</u>。
- サーバーを丸ネジ穴ラックに取り付ける場合は、小型のマイナスドライバーを用意してください。

手順

1. サーバーレールを取り付けます。



- 2. ラックレールを特定します。
 - レールの前端には、FRONT LEFTまたはFRONT RIGHTとマークされています。
 - レールのもう一方の端には、REARとマークされています。



3. ラックレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。



- 4. ラックレールを取り付けます。
 - 丸穴または角穴ラックの場合:



丸ネジ穴ラックの場合:





5. <u>サーバーをラックに取り付けます</u>。

サーバーのラックへの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 。 <u>空間および通気要件</u>
 - 。 <u>ラックに関する警告と注意事項</u>
 - 。 <u>サーバーに関する警告と注意事項</u>
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーションポーネントを取り 外してから、ラックにサーバーを取り付けることをおすすめします。
- この手順を実行する前に、T-25トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーをラックに取り付けます。



2. 輸送用ネジを締めます。



- 3. すべての周辺装置ケーブルをサーバーに接続します。
- 4. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源に接続します。

ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

面ファスナーストラップは、左側または右側のレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

- 1. ストラップカラビナをレールに取り付けます。
- 2. コードとケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブルマネジメントアームの準備

このタスクについて

マネジメントアームは、ラックの左側または右側から外に開くように取り付けることができます。取り付ける前に、構成に応じてエルボブラケットを回転させます。



ブラケットは下の画像とは外観が異なる場合がありますが、手順は同じです。



ケーブルマネジメントアームの取り付け

このタスクについて

マネジメントアームの外観は多少異なる場合がありますが、手順は同じです。



番号説明		
1	1U	CMAケーブルバスケッ
2	2U	CMAケーブルバスケッ

۲ ۲



手順

- 1. ケーブルと電源コードをサーバーの背面に接続します。
- 2. CMAブラケットをインナーレールとアウターレールに取り付けます。



3. ストラップとケーブルバスケットを開きます。





4. ケーブルを取り付けます。



5. バスケットを閉じてストラップを固定します。



6. エルボブラケットをアウターレールに取り付けます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ライザーとライザーケージ

サブトピック <u>拡張ボードの取り付け</u> セカンダリライザーケージの取り付け ターシャリライザーケージの取り付け リア2 SFF (2.5型) ライザーケージの取り付け リア2 LFF (3.5型) ライザーケージの取り付け プライマリおよびセカンダリライザーの取り付け ターシャリライザーの取り付け

拡張ボードの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。 ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

このタスクについて

! 警告

けが、感電、または装置の損傷に対するリスクの低減のために、電源コードを抜き取って、サーバーに電力が供給されないようにしてください。フロントパネルにある電源ボタンではシステムの電源を遮断することはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。

│ 注意

不適切な冷却または高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIスロットに必ず、拡張スロットカバーか拡張ボードのいずれかを実装してサーバーを動作させてください。

コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. ライザーケージを取り外します。



6. PCIeブランクを特定して、ライザーケージから取り外します。



7. 拡張ボードを取り付けます。



8. ライザーケージを取り付けます。



- 9. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 10. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 11. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 12. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 13. 各電源コードを電源に接続します。
- 14. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

セカンダリライザーケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに従ってください。



サーバーまたは拡張ボードの損傷を防止するために、サーバーの電源を拡張ボード、電源 を切るか、すべての電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取 り付けを行ってください。

- 2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. リアウォールブランクを取り外します。



- 7. <u>必要な場合、拡張ボードを取り付けます</u>。
- 8. ライザーケージを取り付けます。



- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ターシャリライザーケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。

サーバーまたは拡張ボードの損傷を防止するために、サーバーの電源を拡張ボード、電源 を切るか、すべての電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取 り付けを行ってください。

2. <u>サーバーの電源を切ります</u>。

注意

- 3. 次のいずれかを実行します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 4. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 5. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 6. リアウォールブランクを取り外します。





- 7. <u>必要な場合、拡張ボードを取り付けます</u>。
- 8. ターシャリライザーケージを取り付けます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

リア2 SFF (2.5型) ライザーケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- フロントドライブベイに12個のLFF(3.5型)ドライブまたは24個のSFF(2.5型)ドライブが完全に取り付けられている 必要があります。
- すべてのファンベイに高性能ファンが取り付けられている必要があります。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. 次のいずれかを実行します。
 - プライマリベイの場合、ライザーケージを取り外します。



• セカンダリベイの場合、リアウォールブランクを取り外します。



6. ドライブケージを取り付けます。



- 7. <u>ドライブを取り付けます</u>。
- 8. <u>ドライブバックプレーンケーブルをコントローラーに接続します</u>。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

リア2 LFF (3.5型) ライザーケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- フロントドライブベイに12個のLFF(3.5型)ドライブまたは24個のSFF(2.5型)ドライブが完全に取り付けられている 必要があります。
- すべてのファンベイに高性能ファンが取り付けられている必要があります。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. 次のいずれかを実行します。
 - プライマリベイの場合、ライザーケージを取り外します。



• セカンダリライザーケージの場合、リアウォールブランクを取り外します。



6. ドライブケージを取り付けます。



- 7. <u>バックプレーンのケーブルを接続します</u>。
- 8. <u>ドライブを取り付けます</u>。
- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをラックに戻します。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

プライマリおよびセカンダリライザーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. 次のいずれかを実行します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。

- 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>ライザーケージを取り外します</u>。
- 6. ライザーボードを取り外します。



7. ライザーを取り付けます。



- 8. <u>必要な場合、拡張ボードを取り付けます</u>。
- 9. 必要な場合は、データケーブルをライザーまたは拡張ボードに接続します。
- 10. ライザーケージを取り付けます。



- 11. アクセスパネルを取り付けます。
- 12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源に接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ターシャリライザーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- このオプションを取り付けるには、ターシャリライザーケージが必要です。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. 次のいずれかを実行します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。

- <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. <u>ライザーケージを取り外します</u>。
- 6. ライザーを取り付けます。



- 7. <u>必要な場合、拡張ボードを取り付けます</u>。
- 8. 必要な場合は、データケーブルをライザーまたは拡張ボードに接続します。
- 9. ターシャリライザーケージを取り付けます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

セキュリティ

サブトピック

<u>ベゼルを取り付ける</u> シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

ベゼルを取り付ける

タスクの結果

フロントベゼルを取り付けます。



(オプション) ベゼルロックを取り付けます。



シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが揃っていることを確認すること。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. シャーシ侵入検知スイッチを取り付けます。



- 6. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 7. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源に接続します。
- 10. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

ストレージコントローラー

サブトピック

<u>タイプpストレージコントローラーの取り付け</u> タイプoストレージコントローラーの取り付け

タイプpストレージコントローラーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。 ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

このタスクについて

警告

けが、感電、または装置の損傷に対するリスクの低減のために、電源コードを抜き取って、サーバーに電力が供給されないようにしてください。フロントパネルにある電源ボタンではシステムの電源を遮断することはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. ライザーケージを取り外します。



6. PCIeブランクを特定して、ライザーケージから取り外します。



7. 拡張ボードを取り付けます。



- 8. 拡張ボードに内部ケーブルが必要な場合、ケーブルを接続します。
- 9. ライザーケージを取り付けます。



- 10. <u>ケーブルを接続します</u>。
- 11. アクセスパネルを取り付けます。
- 12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 13. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 14. 各電源コードを電源に接続します。
- 15. <u>サーバーの電源を入れます</u>。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

タイプoストレージコントローラーの取り付け

前提条件

- このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。
- ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

- 1. <u>サーバーの電源を切ります</u>。
- 2. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 次のいずれかを実行します。

- <u>サーバーをラックから引き出します</u>。
- <u>サーバーをラックから取り外します</u>。
- 4. <u>アクセスパネルを取り外します</u>。
- 5. リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
- 6. 0CPアダプターブランクを取り外します。



7. ストレージコントローラーを取り付けます。



8. <u>ケーブルを接続します</u>。

- 9. <u>アクセスパネルを取り付けます</u>。
- 10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- 11. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 12. 各電源コードを電源に接続します。
- 13. サーバーの電源を入れます。

ケーブル接続

サブトピック

<u>ケーブル接続のガイドライン</u> <u>ケーブル配線図</u>

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。

注記 ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。

- ケーブルオプションキットについては、製品のQuickSpecsを参照してください。
- ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルの コネクター近くのラベルに対応しています。
- Yケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクターがありますが、すべてのコネクターが使用されるわけではありません。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけで はありません。
 - 。 システムボードのポート
 - 。 ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート(コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード)
- 各ケーブルコネクター付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクターの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクターの終端には触らないようにしてください。

ケーブルの接続時

ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。

- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。
 電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

- ケーブルコネクターの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ 張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

ドライブバックプレーン

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
EDSFFのケーブル接続	<u>P76139-001</u>
	<u>P76140-001</u>
	<u>P76141-001</u>
	<u>P75317-001</u>
	<u>P76441-001</u>
	<u>P75567-001</u>
	<u>P75369-001</u>
	<u>P75369-001</u>
	<u>P75368-001</u>
	<u>P75908-001</u>
	<u>P76142-001</u>
	<u>P75318-001</u>
	<u>P75569-001</u>
	<u>P75638-001</u>
	<u>P79152-001</u>
8 SFF(2.5型)ボックス1のケーブル接続	<u>P74811-001</u>
	<u>P76147-001</u>
	<u>P75367–001</u>
	<u>P75563–001</u>
	<u>P75365–001</u>
	<u>P51545-001</u>
	<u>P51546-001</u>
	<u>P51548-001</u>
	<u>P51547-001</u>
8 SFF(2.5型)ボックス2のケーブル接続	<u>P76147-001</u>
	<u>P76146-001</u>
	<u>P76148-001</u>
	<u>P75563–001</u>
	<u>P74805–001</u>
	<u>P51545-001</u>
	<u>P51546-001</u>
	<u>P51547–001</u>
	<u>P22905–001</u>
8 SFF(2.5型)ボックス3のケーブル接続	<u>P76146-001</u>
	<u>P75367–001</u>
	<u>P75563–001</u>

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
	<u>P75365-001</u>
	<u>P75574-001</u>
	P22905-001
	<u>P51545-001</u>
	<u>P51546-001</u>
4 LFF(3.5型)ボックス7のケーブル接続	<u>P51560-001</u>
フロント2 SFF(2.5型)のケーブル接続	<u>P74811-001</u>
	<u>P22905-001</u>
	<u>P51545-001</u>
リア2 SFF(2.5型)のケーブル接続	<u>P51554-001</u>
	<u>P14329-001</u>
	P22903-001
	<u>P74818-001</u>
	<u>P51545-001</u>
LFF(3.5型)のケーブル接続	<u>P75367-001</u>
	<u>P51559-001</u>
	<u>P51560-001</u>
	<u>P51561-001</u>
ライザー有効化のケーブル接続	<u>P75362-001</u>
	<u>P76145-001</u>
	<u>P76144-001</u>

電源

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
フロントEDSFFボックス1~3	<u>P75227–001</u>
フロント8 SFF(2.5型)ボックス1~3	<u>P75906–001</u>
フロント4 LFF(3.5型)ボックス1~3	<u>P75363–001</u>
リアボックス4および5	<u>P51574–001</u>
フロント2 SFF(2.5型)サイドバイサイド	<u>P75276–001</u>
リア/ミッドプレーンボックス4、5、7	<u>P75364–001</u>
スマートバッテリ	<u>P45618-001</u>

NS204i-uのケーブル接続

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
リアNS204i-uデータのケーブル接続	<u>P72024–001</u>
リアNS204i-u電源ケーブルの接続	<u>P54089-001</u>
フロントNS204i-uデータのケーブル接続	<u>P74730-001</u>
フロントNS204i-u電源ケーブルの接続	<u>P74729-001</u>

OCPのケーブル接続

コンポーネントのケーブル接続 ケーブルの部品番号

OCPのケーブル接続	<u>P71940-001</u>
	<u>P73927-001</u>
	<u>P74889-001</u>
	<u>P74891–001</u>
	<u>P75370-001</u>
	<u>P74890-001</u>
	P74891-001

Systems Insight Display

コンポーネントのケーブル接続 ケーブルの部品番号			
Systems	Insight	Display	<u>P48971-001</u>

1/0のケーブル接続

コン	ポーネン	トのケーブル	接続	ケーブルの部品番号
SFF	(2.5型)	メディアベイ	USB	<u>P73776-001</u>
SFF	(2.5型)	メディアベイ	DP/USB	<u>P75280-001</u>
LFF	(3.5型)	ディスプレイ	゙ポート	<u>P75279–001</u>
SFF	(2.5型)/	/LFF (3.5型)	ODD	<u>P73776–001</u>

フロント電源スイッチ

コン	ポーネントの	ケーブル接	送続	ケーブルの部品番号	
SFF	(2.5型)/LFF	(3.5型) つ	フロント電源スイッチ	<u>P71909–001</u>	

シリアルポートのケーブル接続

コンポーネントのケーブル接	そ続ケーブルの部品番号
シリアルポートのケーブル	P45623-001

サブトピック

EDSFFのケーブル接続 <u>8 SFF (2.5型) ボックス1のケーブル接続</u> <u>8 SFF (2.5型) ボックス2のケーブル接続</u> <u>8 SFF (2.5型) ボックス3のケーブル接続</u> <u>ボックス7のケーブル接続</u> <u>フロント2 SFF (2.5型)のケーブル接続</u> <u>リア2 SFF (2.5型)のケーブル接続</u> LFF (3.5型)のケーブル接続 <u>ライザー有効化のケーブル接続</u> <u>電源ケーブルの接続</u> GPUのケーブル接続 <u>NS204i-uブートデバイスのケーブル接続</u> <u>0CPの有効化</u> <u>Systems Insight Displayのケーブル接続</u> 1/0のケーブル接続 <u>フロント電源スイッチのケーブル接続</u> シリアルポートのケーブル接続

EDSFFのケーブル接続

EDSFFボックス1:ケージ1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76441-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス1またはボックス3:ケージ1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75317-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス1:ケージ2または3、またはボックス3:ケージ1または2



ケーブルの部品番号色接続元接続先P75368-001オレンジ色ドライブバックプレーン システムボード

EDSFFボックス1:ケージ1またはボックス3:ケージ3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75908-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2:ケージ1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76139-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2:ケージ1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76441-001	オレンジ色	色 ドライブバックプレーン シス	
	青色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2:ケージ1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76441-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	[,] システムボード

EDSFFボックス2:ケージ1または2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75368-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2:ケージ1または3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75368-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	・システムボード

EDSFFボックス2:ケージ2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76142-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2:ケージ2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76140-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	・システムボード
	青色	ドライブバックプレーン	・システムボード

EDSFFボックス2:ケージ3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76141-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2:ケージ3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75369-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス3:ケージ1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75567-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74811-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	・システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76147-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	[,] システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75367-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード
175507 001	オレンノヒ	1 21 21 2 2	

8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライフバックフレーン	システムホード

8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	[,] システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75365-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1:0CP Aコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1:0CP Bコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Bコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1:0CP Bコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	・OCP Bコントローラー
P51546-001	青色		OCP Bコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1:0CP Aコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー
P51546-001	青色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1: セカンダリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51548-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント ローラー
P51548-001	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1: プライマリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76147-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス2:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76146-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	[,] システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76148-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス2:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	[,] システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス2: PCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74805-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	PCIeコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2:0CP Aコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2:0CP Bコントローラー


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Bコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2:0CP Bコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Bコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2:0CP Bコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Bコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2: プライマリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2: プライマリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2: セカンダリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2: セカンダリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス2: セカンダリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント

8 SFF (2.5型) ボックス3のケーブル接続

8 SFF (2.5型) ボックス3:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76146-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス3:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75367-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード
P75367-001	青色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス3:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス3:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード
P75563-001	青色	ドライブバックプレーン	システムボード

⁸ SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75563-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75365-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード
P75365-001	青色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス3: プライマリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75574-001	オレンジ色/黄色/青色/オ レンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス3: セカンダリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリPCIeコント ローラー
P22905-001	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント ローラー

8 SFF (2.5型) ボックス3: プライマリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレー	-ン プライマリPCIeコント

8 SFF (2.5型) ボックス3: セカンダリPCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリPCIeコント ローラー

HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド 225

8 SFF (2.5型) ボックス3:0CP Bコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Bコントローラー
P51546-001	青色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス3: OCP Aコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー
P51546-001	青色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー

ボックス7のケーブル接続

LFF (3.5型) ボックス1および7: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51560-001	オレンジ色	LFF(3.5型)ボックス1お よび7*	プライマリタイプ₀コント ローラー

*これはYケーブルで、ボックス1および7を接続できます。ボックス7がない場合は、一方の端は外したままにします。

フロント2 SFF (2.5型)のケーブル接続

スタックした2 SFF (2.5型) ボックス1:システムボード



ケーブルの部品番号色接続元接続先P74811-001オレンジ色ドライブバックプレーン システムボード

スタックした2 SFF (2.5型) ボックス1: PCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコント ローラー

スタックした2 SFF (2.5型) ボックス1 : PCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

スタックした2 SFF (2.5型) ボックス1: PCIeコントローラー



スタックした2 SFF (2.5型) ボックス1:0CPコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコント ローラー

2 SFF (2.5型) サイドバイサイドボックス1:0CPコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプ₀コント ローラー

2 SFF (2.5型) サイドバイサイドボックス1:0CPコントローラー

HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド 230



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコント ローラー

2 SFF (2.5型) サイドバイサイドボックス1: PCIeコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) サイドバイサイドボックス1: PCIeコントローラー

HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド 231



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコント ローラー

リア2 SFF (2.5型)のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ボックス4: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	・OCP Aコントローラー

2 SFF (2.5型) ボックス4: セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	タイプoコントローラー

2 SFF (2.5型) ボックス4: セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) ボックス4:ターシャリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	ターシャリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) ボックス5: セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコント
			$\Box = \overline{\neg} =$

2 SFF (2.5型) ボックス5:タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) ボックス5:タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) ボックス5: ターシャリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	ターシャリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) ボックス5: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554–001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Aコントローラー

2 SFF (2.5型) ボックス6:システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74818-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

2 SFF (2.5型) ボックス6: プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラー

2 SFF (2.5型) ボックス6: プライマリタイプpコントローラー



2 SFF (2.5型) ボックス6: セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	OCP Bコントローラー

LFF (3.5型)のケーブル接続

LFF (3.5型) ボックス1とシステムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75367–001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

LFF (3.5型) ボックス2または3: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51559-001	オレンジ色	LFF(3.5型)ボックス2お よび3*	プライマリタイプ₀コント ローラー

*これはYケーブルで、ボックス2および3を接続できます。

LFF (3.5型) ボックス1および7: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51560-001	オレンジ色	LFF(3.5型)ボックス1お よび7*	プライマリタイプ₀コント ローラー

*これはYケーブルで、ボックス1および7を接続できます。ボックス7がない場合は、一方の端は外したままにします。

LFF (3.5型) ボックス4および5: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51561-001	オレンジ色	LFF(3.5型)ボックス4お よび5	プライマリタイプoコント ローラー

ライザー有効化のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75362-001	オレンジ色	プライマリおよびセカン ダリライザー	システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75362-001	オレンジ色	プライマリおよびセカン ダリライザー	システムボード
	青色	プライマリおよびセカン ダリライザー	システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76144-001	黄色	ターシャリライザー	システムボード
	ピンク色	ターシャリライザー	システムボード
	青色	ターシャリライザー	システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76145-001	黄色	ターシャリライザー	システムボード
	ピンク色	ターシャリライザー	システムボード
	青色	ターシャリライザー	システムボード
	オレンジ色	ターシャリライザー	システムボード

電源ケーブルの接続

4 EDSFFボックス1、2、3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75277-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1~3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75906-001	オレンジ色	8 SFF(2.5型)バックプ レーン	システムボード

4 LFF (3.5型) ボックス1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75363-001	オレンジ色	4 LFF(3.5型)バックプ レーンボックス1	システムボード

4 LFF (3.5型) ボックス2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75363-001	オレンジ色	4 LFF(3.5型)バックプ レーンボックス2	システムボード

4 LFF (3.5型) ボックス3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75363-001	オレンジ色	4 LFF(3.5型)バックプ レーンボックス3	システムボード

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド (LFF (3.5型) シャーシ)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75276-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

ボックス4、5、7



2 SFF (2.5型) ボックス4および5



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51574-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	ライザー電源コネク ター

スマートバッテリのケーブル接続







ケーブルの部品番号色		接続元	接続先
869820-001 ¹	オレンジ色	GPU	ライザー

1 オプションキット: P39102-B21

GPU電源とサイドバンドのケーブル接続



;
*

1 オプションキット: P56072-B21

NS204i-uブートデバイスのケーブル接続

リアNS204i-uブートデバイスのケーブル接続

図 1. リアNS204i-uブートデバイスのデータケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72024-001	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

図 2. リアNS204i-uブートデバイスの電源ケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54089-001	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

フロントNS204i-uブートデバイスのケーブル接続

図 3. フロントNS204i-uブートデバイスのデータケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74730-001	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

図 4. フロントNS204i-uブートデバイスの電源ケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74729-001	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

0CPの有効化

フロントOCPスロット9の有効化


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71940-001	ピンク色	OCPケーブル	システムボード
	黄色	0CPケーブル	システムボード
	オレンジ色	0CPケーブル	インターポーザー (OCP A)
	青色	0CPケーブル	PHYボード(下部ポート)

フロント0CPスロット11の有効化



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71940-001	ピンク色	0CPケーブル	システムボード
	黄色	0CPケーブル	システムボード
	オレンジ色	0CPケーブル	インターポーザー(OCP B)

フロントOCP PHYボードのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73927-001	青色	PHYボード(上部ポ-	ート) インターポーザー(OCP
			Δ)

CPU1とOCP B x8有効化間



CPU2とOCP B x8有効化間



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74891-001	オレンジ色	0CPスロット15ポート1	ソケット2 MCIOポート 1

CPU2とOCP B x16有効化間



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75370-001	オレンジ色	0CPスロット15ポート1	ソケット1 MCIOポート 1

OCP A x16の有効化



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74890-001	オレンジ色	0CPスロット14ポート2	ソケット1 MCIOポート 1

OCP B x16の有効化



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74891-001	オレンジ色	0CPスロット15ポート1	ソケット2 MCIOポート 1
P74891-001	青色	0CPスロット15ポート2	ソケット2 MCIOポート 2

HPE ProLiant Compute DL380 Gen12サーバーユーザーガイド 256

Systems Insight Displayのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001	オレンジ色	Systems Insight Display	システムボード

1/0のケーブル接続

SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブ





LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-001	オレンジ色	LFF(3.5型)ODD) システムボード

LFF (3.5型) DisplayPort



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75279-001	オレンジ色	前面DisplayPort	システムボード

SFF (2.5型) UMB DisplayPort/USBのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75280-001	オレンジ色	ユニバーサルメディアベ イ	システムボード

フロント電源スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71909-002	オレンジ色	フロント電源スイッチ	システムボード

シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	ŧ	妾続先	
	-				

P45623-001 オレンジ色 シリアルポート システムボード

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs(<u>https://www.hpe.com/info/quickspecs</u>)を参照してください。
- HPEファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性が あります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPEファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。 <u>https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks</u>

サブトピック

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート サーバーの構成 ストレージコントローラーの構成 HPE NS204i-uブートデバイスの管理 オペレーティングシステムの展開 セキュリティの構成 サーバー管理 Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

実行する操作	使用
Service Packのダウンロード	 Service Pack for ProLiant <u>https://www.hpe.com/servers/spp/download</u> SPPとそのエコシステムの概要を理解する
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager
	<u>https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-</u> <u>quicklinks</u>
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView
	https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単ーサーバーでのiL0またはシステムファームウェアのアッ プデート	iLOユーザーガイド <u>https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks</u>
- 八歩されたサーバーノンフニフトニクエッズサーバーキ	HPE Compute Ops Management
 分散されたりーバーインシリストリッティでリーバーよ たはサーバーグループファームウェアのポリシーベース 管理を可能にする 	<u>https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks</u>
 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの 準拠を監視する 	
• 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る	
 ベースラインアップデートアラートを受け取る 	

サーバーの構成

構成する対象	使用
単ーサーバー (GUI)	 Intelligent Provisioning <u>https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-</u> <u>quicklinks</u>
	• iLOリモートコンソールまたはWebインターフェイス
	https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
	• UEFIシステムユーティリティ
	<u>https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-</u> <u>quicklinks</u>
	• HPE Compute Ops Management
	https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks
単-サ-バ-(スクリプト)	• RESTfulインターフェイスツール
	<u>https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs</u>
	• Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest-library)
	<u>https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-</u> library
	Scripting Tools for Windows PowerShell
	https://www.hpe.com/info/powershell/docs
	• iLO RESTful API
	https://servermanagementportal.ext.hpe.com/
	• HPE Compute Ops Management API
	<u>https://developer.greenlake.hpe.com/</u>
複数のサーバー(UIまたはスクリプトのいずれか)	• HPE OneView ¹
	<u>https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks</u>
	• HPE Compute Ops Management
	<u>https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks</u>
	 サーバー設定:ファームウェアベースラインなどのサー バー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグ ループに適用します。
	。サーバーグループ:関連のサーバー設定でカスタム定義 セットにサーバーを編成し、グループ固有のポリシーを 適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を 作成します。

HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法について詳しくは、iLOユーザーガイド(https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks)を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ	ドキュメント
HPE MR Gen11コントローラー	HPE MR Gen11コントローラーユーザーガイド
	https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG
	構成ガイド:
	• HPE MR Storage Administrator User Guide
	https://www.hpe.com/support/MRSA
	• HPE StorCLI User Guide
	https://www.hpe.com/support/StorCLI
Intel VROC for HPE Gen12	Intel Virtual RAID on CPU for HPEユーザーガイド
	https://www.hpe.com/support/VROC-UG
	OS固有の構成ガイド:
	• Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Windows User Guide
	<u>https://www.intel.com/content/dam/support/us/en/documents/memory-</u> <u>and-storage/338065 Intel VROC UserGuide Windows.pdf</u>
	• Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Linux User Guide
	<u>https://www.intel.com/content/dam/support/us/en/documents/memory-</u> and-storage/linux-intel-vroc-userguide-333915.pdf
	• Intel Volume Management Device Driver for VMware ESXi User Guide
	<u>https://www.intel.com/content/dam/support/us/en/documents/memory-</u> and-storage/ESXi-Intel-VROC-UserGuide.pdf

HPE NS204i-uブートデバイスの管理

HPE NS204i-uブートデバイスのサポートされている機能とメンテナンス情報について詳しくは、 HPE NS204ブートデバイス ユーザーガイドを参照してください。

https://www.hpe.com/support/NS204-UG

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices

実行する操作	参照
HPE Compute Ops Managementを使用してOSを展開する	HPE Compute Ops Managementユーザーガイド
	https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド
	<u>https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-</u> <u>quicklinks</u>
iL0仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド
	https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	UEFI System Utilities User Guide for HPE Compute servers
	https://www.hpe.com/support/UEFIGen12-UG-en
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide
	https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide

セキュリティの構成

実行する操作	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	 HPEコンピュートセキュリティリファレンスガイド <u>https://www.hpe.com/info/server-security-</u> <u>reference-ja</u>
	● HPE iLO 7セキュリティテクノロジーの概要
	<u>https://www.hpe.com/support/ilo7-security-en</u>
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー 構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy
	<u>https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en</u>

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO
	https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
複数のサーバー	HPE OneView
	https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management
	https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

LINUXペースのハイハノオーマンスコンヒュー

実行する操作	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行い	HPE Performance Cluster Manager
ます。	https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools
	https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント	HPE Cray Programming Environment User Guide
通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現する ために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

<u>NMI機能</u>

<u>フロントパネルのLED電源障害コード</u> <u>トラブルシューティングの資料</u>

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファ イルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングな ど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者は システムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報 が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiL0生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバー に適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサー	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
0CPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングのサポートが必要な場合は、お使いのサーバーに関する最新の記事を参照してください。

<u>https://www.hpe.com/info/dl380gen12-ts</u>

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

<u>規定に関する情報</u> <u>保証情報</u>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<u>https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts</u>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH (欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006)のような法的な要求事項に準拠す る必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含 有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

https://www.hpe.com/info/reach

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照して ください。

https://www.hpe.com/info/ecodata

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、 次を参照してください。 https://www.hpe.com/info/environment

```
サブトピック
```

<u>Notices for Eurasian Economic Union(ユーラシア経済連合)</u> <u>Turkey RoHS material content declaration</u> <u>Ukraine RoHS material content declaration</u>

Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)

EHC

Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

• Russia

ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Российская Федерация, 125171, г. Москва, Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403 4677

• Kazakhstan

Т00 «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика Казахстан, 050040, г. Алматы, Бостандыкский район, проспект Аль-Фараби, 77/7, Телефон/факс: + 7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

• Russia

ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей Федерациясы, 125171, Мәскеу, Ленинград тас жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403 4677

• Kazakhstan

ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан Республикасы, 050040, Алматы к., Бостандык ауданы, Әл-Фараби даңғылы, 77/7, Телефон/факс: +7 727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

CCSYWWZZZZ (product serial number format)

WW = Week of manufacture (calendar week)

Y = Year of manufacture (decade, year)

If you need help identifying the manufacturing date, contact <u>tre@hpe.com</u>.

Turkey RoHS material content declaration

Ukraine RoHS material content declaration

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、標準保証確認ツールを参照してください。

仕様

サブトピック

<u>環境仕様</u> サーバーの仕様 電源装置の仕様

環境仕様

仕様	值
温度範囲	-
動作時	10° C~35° C
非動作時	-30° C~60° C
相対湿度(ただし結露しないこと)	-
動作時	8%~90%
	28°C、最高湿球温度(結露しないこと)
非動作時	5%~95%
	38.7°C、最高湿球温度(結露しないこと)
高度	-
動作時	3,050m (10,000フィート)
	この値は、取り付けられているオプションのタイプや数によって制限される場合 があります。高度の許容最大変化率は457 m/分です。
非動作時	9,144 m (30,000フィート)
	高度の許容最大変化率は457m/分(1,500フィート/分)です。

サポートされる標準動作温度

海抜0 mで10°~35°C。海抜3,050 mまでは、高度が305 m上昇するごとに1.0°C低くなります。直射日光が当たらないよう にしてください。最大変化率は20°C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限 される可能性があります。

気温が30°Cを超えているか、ファンが故障している場合は、標準動作のサポート中にシステムパフォーマンスが低下する ことがあります。

サポートされる拡張時の動作周囲温度

承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気範囲が次のように拡大されます。

- 海抜0 mで5~10°Cおよび35~40°C。この温度は、900 m~3050 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0°C低くなります。
- 海抜0 mで40°~45°C。この温度は、900 m~3,050 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0°C低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、Extended Ambient Temperature Guidelines for HPE Gen12 Serversを参照してください。

https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen12

サーバーの仕様

仕様	値
高さ	8.75 cm (3.44インチ)
奥行き、SFF(2.5型)	72.70 cm(28.62インチ)
奥行き、LFF(3.5型)	73.25 cm (28.84インチ)
幅	44.80 cm (17.64インチ)
重量、SFF(2.5型)最小	18.00kg (39.68ポンド)
重量、SFF (2.5型) 最大	33.00 kg (72.75ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最小	23.00 kg(50.70ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最大	37.00 kg (81.57ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。 サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>にあるQuickSpecsを参照 してください。

サブトピック

<u>HPE 800W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)</u> <u>HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)</u> <u>HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)</u> <u>HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Power Supply)</u> <u>HPE 1800-2200 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)</u>

HPE 800W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800W Flex Slot Platinum Hotplug Low Halogen Power Supply)

仕様	值
入力要件	-
定格入力電圧	100~240VAC
	240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	9.4 A (100 VAC時)
	4.5 A (200 VAC時)
最大定格入力電力	899 W (100 VAC時)
	867 W (200 VAC時)
BTU/時	3067 (100 VAC時)
	2958 (200 VAC時)
電源装置出力	-
安定時定格電力	800 W (200~240 VAC入力時)
	800 W (240 VDC入力時)
最大ピーク電力	800 W (100~240 VAC入力時)

サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、<u>Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト</u>にあるQuickSpecsを参照 してください。

HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hotplug Power Supply)

仕様	值
入力要件	-
定格入力電圧	100~127 VAC
	200~240 VAC
	240 VDC (中国)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	11.3 A (100 VAC時)
	6.1A (200 VAC時)
最大定格入力電力	1130 W (100 VAC時)
	1090 W (200 VAC時)
BTU/時	3764 (100 VAC時)
	3629 (200 VAC時)
電源装置出力	-
安定時定格電力	1000 W(100~127 VAC時)
	1000 W (200~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1000 W(100~127 VAC時)
	1000 W (200~240 VAC時)

HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	-
定格入力電圧	200~240 VAC
	240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	8.7 A (200 VAC時)
	7.2 A (240 VAC時)
最大定格入力電力	1734 W (200 VAC時)
	1725 W (240 VAC時)
BTU/時	5918 (200 VAC時)
	5884 (240 VAC時)
電源装置出力	_
安定時定格電力	1600 W (200~240 VAC入力時)
	1600 W (240 VDC入力時)
最大ピーク電力	1ミリ秒1600 W(ターボモード)(200~240 VAC入力時)

HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Power Supply)

仕様	値
入力要件	-
定格入力電圧	-40 VDC~-72 VDC
定格入力周波数	DC
定格入力電流	45 A DC (-40 VDC入力時)
	36.6 A DC (-48 VDC入力時)
	24.4 A DC (-72 VDC入力時)
最大定格入力のワット数定格	1798 W (-40 VDC入力時)
	1758 W (-48 VDC入力時)
	1755 W (-72 VDC入力時)
BTU/時	6026 (-40 VDC入力時)
	6000 (-48 VDC入力時)
	5989 (-72 VDC入力時)
電源装置出力	-
安定時定格電力	1600 W (-40 VDC~-72 VDC時)
最大ピーク電力	1600 W (-40 VDC~-72 VDC時)

HPE 1800-2200 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)

仕様	值
入力要件	-
定格入力電圧	200~240 VAC
	240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	10 A (200 VAC時)
	10 A (240 VAC時)
	10 A (240 VDC時、中国のみ)
最大定格入力電力	1946 W (200 VAC時)
	2375 W (240 VAC時)
	2375 W (240 VDC時、中国のみ)
BTU/時	6497 (200 VAC時)
	7962 (240 VAC時)
電源装置出力	-
安定時定格電力	1800 W (200 VAC時)
	2200 W (240 VAC時)
最大ピーク電力	1ミリ秒2200 W(ターボモード)(200~240 VAC入力時)

サポートと他のリソース

サブトピック

 Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

 IPE製品登録

 アップデートへのアクセス

 カスタマーセルフリペア (CSR)

 リモートサポート

 ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

• ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。

https://www.hpe.com/info/assistance

 ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにア クセスします。

https://www.hpe.com/support/hpesc

収集される情報

- テクニカルサポートの登録番号(該当する場合)
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン

- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

HPE製品登録

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約 と製品をHPESCのアカウントに追加してください。

- 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた 有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、合理化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、<u>https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=cep-</u> <u>help_ja_jp&page=GUID-8C7F13D9-5EC3-4E5C-9DE2-A5E7823066D6.html</u>を参照してください。

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするための メカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認して ください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター

https://www.hpe.com/support/hpesc

マイHPEソフトウェアセンター

https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter

eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<u>https://www.hpe.com/support/e-updates-ja</u>

 お客様のエンタイトルメントを表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、 Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター More Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

<u>https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials</u>

!) 重要

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品 エンタイトルメントが必要な場合があります。関連するエンタイトルメントでHPEアカウン トをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーセルフリペア(CSR)プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSRが適用されません。

CSRについて詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポート は、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントをHewlett Packard Enterpriseに安全な方法で自動 通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterpriseでは、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPEリモートITサポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232ja_jp

HPE Tech Care Service

https://www.hpe.com/jp/techcare

HPE Complete Care Service

https://www.hpe.com/jp/completecare

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善す るために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、 Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターポータル (<u>https://www.hpe.com/support/hpesc</u>)のフィードバックボタンとアイコン (開い ているドキュメントの下部にある)からお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されま す。